



**大阪大学業績集 2007-2009**

# 大阪大学業績集

## 2007-2009

# 目次

はじめに	2
大阪大学憲章	4
グラウンドプラン	5
大学教育・研究組織	6
運営組織	7
大学院・学部・研究所等	8
教職員数	9
学生数	10
入学者状況	12
卒業者数・進路状況	14
学位授与者数	15
国際交流	16
外国人留学生数	
外国人研究者等受入れ状況	
海外拠点	
協定締結大学一覧	
附属図書館等	24
大阪大学中之島講座等	25
寄附講座・寄附研究部門設置状況	26
共同研究講座・共同研究部門設置状況	27
科学研究費補助金等	28
世界トップレベル研究拠点プログラム等	30
グローバルCOEプログラム	32
大学評価	33
財務関係	36
環境への取り組み	37
各種大学ランキング	38
日本の論文の引用動向日本の研究機関ランキング	
THES World University Rankings	
科学研究費補助金機関別配分額ランキング	
大学発ベンチャー数の多い大学トップ10	
国内大学別特許ランキング	



## 地域に生き 世界に伸びる —《阪大スタイル》の確立をめざして—

総長 鷲田 清一

「地域に生き世界に伸びる」をモットーとして掲げる大阪大学にとって、懐徳堂と適塾を精神的な源流とすることは、創立の歴史的経緯を超えた深い意味をもっています。大阪大学は、全国でも唯一、官学でもなければ藩校でもなく町民が基金を出しあって設立した学問所、一学者が私財をなげうって開いた私塾を源流としている大学であり、このことを大きな誇りとしています。そしてこの、市民に広く開かれた学問所として、古典的な知と徳に深く学ぶとともに、当時の世界の先端の知にも連なっていた懐徳堂と適塾の精神を現代に活かすことが、社会の〈知〉の機関としての大阪大学の未来を指し示していると考えます。

大阪が生んだあの自由な研鑽の場所を、ここ大阪大学にふたたび花咲かせるために、わたしたちの先輩たちは懸命な努力を続けてきました。教育と研究の質を比類のないレベルにまで高めること、このもつとも基本的な努力に大阪大学の未来もまた懸かっています。世界最先端の研究、すでに大阪大学の伝統となっている未知の融合研究領域の

創出、「教育の阪大」とまで言われるようになった教育熱心な校風、大学院レベルでの高度教養教育の重視、産学連携と社会学連携の両輪で進む活発な社会貢献など、大阪大学が近年とくに力を入れてきた特色ある教育・研究の活動を、大阪大学はいま、《阪大スタイル》として確立させる時期にきています。

最先端の研究に従事しながら同時に社会から厚い信頼を寄せられる研究者と職業人を養成すること、いいかえると、教養とデザイン力とコミュニケーション能力を合わせもった真の英知を生み出すこと、このことを軸として、国家のためだけの大学でも、研究者のためだけの大学でもなく、一歩も二歩も時代の先を見据えながら、市民とともに歩む大学になること、これこそ大阪大学のめざしている〈知〉のスタイルです。「阪大で育った学生はやっぱり違う」と社会から高い評価を得られるような大学を、いま大阪大学は、構成員全員の力を合わせて創りあげようとしています。

初代総長	長岡 半太郎	ながおか はんたろう	昭和 6年	5月 1日就任
2代総長	楠本 長三郎	くすもと ちようざぶろう	昭和 9年	6月22日就任
3代総長	真島 利行	まじま としゆき	昭和18年	2月 3日就任
4代総長	八木 秀次	やぎ ひでつぐ	昭和21年	2月 2日就任
5代総長	今村 荒男	いまむら あらお	昭和21年	12月28日就任
6代総長	正田 建次郎	しょうだ けんじろう	昭和29年	12月28日就任
7代総長	赤堀 四郎	あかぼり しろう	昭和35年	12月17日就任
8代総長	岡田 實	おかだ みのる	昭和41年	12月17日就任
9代総長	釜洞 醇太郎	かまほら じゅんたろう	昭和44年	8月26日就任
10代総長	若槻 哲雄	わかつき てつお	昭和50年	8月26日就任
11代総長	山村 雄一	やまむら ゆういち	昭和54年	8月26日就任
12代総長	熊谷 信昭	くまがい のぶあき	昭和60年	8月26日就任
13代総長	金森 順次郎	かなもり じゅんじろう	平成 3年	8月26日就任
14代総長	岸本 忠三	きしもと ただみつ	平成 9年	8月26日就任
15代総長	宮原 秀夫	みやはら ひでお	平成15年	8月26日就任
現総長	鷲田 清一	わしだ きよかず	平成19年	8月26日就任

歴代総長



## 大阪大学の軌跡 —第1期中期目標期間後半の3年間—

理事・副学長 土井 健史  
(評価担当)

平成20年3月に第1期中期目標期間前半3年間における大学の活動にかかわるさまざまな数値を載せた大阪大学業績集2004-2006が出てから早3年が経ちました。各年度の数値のみならず経年変化を見ていただくことで大学の動きを捉えていただけたかと思っています。そこでこの度、第1期中期目標期間後半3年間につきましても、同様の業績集を作成してこの3年間の動きを追ってみることに致しました。

この3年間の主な動きとしては、教職員数の増加、女性教員比率の伸びがみられています。また、大阪外国語大学との統合により、学生数が大幅に増加し、国立大学では最多の学生が在籍する大学となりました。一方で、大学院博士後期課程の学生については減少傾向がみられ、今後の課題が読み取れます。国際交流においても、海外からの留学生数が大阪外国語大学との統合を期に再び上昇に転じました。また、部局間および大学間交流協定も年々増加し、外国人研究者などの受け入れ人数も増加しましたが、一方で海外に派遣される、あるいは留学する学生については減少しています。これまでのアメリカ、オランダ、タイの

3拠点に加え、中国に上海教育研究センターが設置され、国際交流のさらなる進展が期待されます。社会連携では、中之島講座に加え大阪市と協力した21世紀懐徳堂講座などを通して、広く一般市民との対話を続けている姿勢、教育・研究では、寄附講座や共同研究講座などの増加、多くの研究・教育プログラムの実施などがご覧いただけます。予算関係では、科学研究費補助金を含めた外部資金獲得状況、大学の財務状況の変化などをご確認いただけます。

この業績集は、第1期中期目標期間後半のデータ集であります。業績集2004-2006とあわせると、第1期中期目標期間を通しての変化をご覧いただけます。大阪大学では、その年々のデータをまとめたOsaka University Profileという冊子を発行していますが、この業績集では経年変化を見てとれるところが特徴です。各年度の情報は重要ですが、点におけるデータが時系列的につながって線になり、より意味のある情報にも生まれ変わります。大阪大学におけるこれまでの軌跡を眺めていただき、未来に向かって動きだしていることを感じていただければ幸いです。

### 吹田キャンパス



### 豊中キャンパス



### 箕面キャンパス



## 大阪大学憲章

平成15年3月

大阪大学は、開学以来の国立大学という組織を離れて、国立大学法人として新たに出発する。かねて大阪の地に根づいていた懐徳堂・適塾以来の市民精神を受け継ぎつつ、「地域に生き世界に伸びる」ことをモットーとして、それぞれの時代の社会の課題に応じてきた。歴史の大きな転換点をむかえつつあるいま、大阪大学が国立大学法人として新たな出発をするこの機に臨み、将来の豊かな発展を期して、あらためて自らの基本理念を以下のとおり宣言し、大阪大学の全構成員の指針とする。

### 1. 世界水準の研究の遂行

大阪大学は、人間そのものや人間が構成する様々な社会、及びそれを取り巻く環境や自然のあらゆる分野について、また、それら相互の関係について、その真理を探求し、世界最先端の学術研究の場となることをめざす。

### 2. 高度な教育の推進

大阪大学は、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを、その目標とする。

### 3. 社会への貢献

大阪大学は、教育研究活動を通じて、「地域に生き世界に伸びる」をモットーとして、社会の安寧と福祉、世界平和、人類と自然環境の調和に貢献する。

### 4. 学問の独立性と市民性

大阪大学は、教育研究の両面において、懐徳堂・適塾以来の自由で闊達な市民的性格と批判精神やその市民性を継承し、発展させる。学問の本質を踏まえ、いかなる権力にも権威にもおもんばかることなく、自主独立の気概のもとに展開する。

### 5. 基礎的研究の尊重

大阪大学は、すべての分野において基礎的・理論的な研究を重視し、世界水準の研究を自らの課題として、次世代においても研究のリーダーであることを標榜する。

### 6. 実学の重視

大阪大学は、実学の伝統を生かし、基礎と応用のバランスに配慮して、現実社会の要請に応える教育研究を実践する。

### 7. 総合性の強化

大阪大学は、総合大学としての特色を追求する。たんなる部局の集合体ではなく、人文科学・社会科学・自然科学・生命科学など、あらゆる学問分野の相互補完性を重視するとともに、新時代に適合する分野融合型の教育研究を推進する。

### 8. 改革の伝統の継承

大阪大学は、つねに世界に先駆けて新たな学問分野を切り拓き、それに見合った教育研究組織を生み出してきた自己革新の伝統を継承し、絶えざる組織の点検・再編に努める。

### 9. 人権の擁護

大阪大学は、その活動のあらゆる側面において、人種、民族、宗教、信条、貧富、社会的身分、性別、障害の有無などに関するすべての差別を排し、基本的人権を擁護する。

### 10. 対話の促進

大阪大学は、あらゆる意味での対話を重んじ、教職員および学生は、それぞれの立場から、また、その立場を超えて、互いに相手を尊重する。

### 11. 自律性の堅持

大阪大学は、直面する課題に対し、構成員間の協調をとおして、自らの意思においてその解決を図る。

## 大阪大学の新世紀

—大阪大学グラウンドプラン—

大阪大学は、江戸期に大坂の地に創設された適塾(1838)を原点とし、さらに遡って大坂の五商人によって開設された懐徳堂(1724)の精神を汲みつつ、学術と教育の機関として発展してきた。大阪大学は、この、藩校ではない市民による市民のための二つの学問所を精神的な源流としており、そのことを大きな誇りとしている。科学的精神とそれにもとづく徹底して合理的な知を追究すること、あわせて深い徳と豊かな教養を磨くこと。この二つをとともにめざした適塾と懐徳堂の精神という希有な原点を、大阪大学はいまあらためて思い起こし、それを現代にふさわしく大きく飛躍させてゆかなければならない。「社会に開かれた学府」としての大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」というモットーのもと、次の三つの使命を果たしてゆく。

**1 創発的研究と基礎的研究を両翼とするハイレベルな研究を推進することで国際的なプレゼンスを高めるとともに、企業・行政と強く連携しながら同時代の社会が抱え込んでいる諸問題に真摯に取り組むなかで、社会からの厚い信頼を得るよう努力する。**

**2 研ぎ澄まされた専門性の教育を深化するとともに、広い視野と豊かな教養をもち、確かな社会的判断のできる「賢明な」研究者・職業人を育てるためのいわゆる教養教育に、低学年から大学院にいたるまで一貫して力を入れる。**

**3 大学から多様な文化を発信・媒介するなかで、地域の文化機関、国際的な文化機関としての大学の役割を積極的に担ってゆく。**

これら三つの使命を、教職員から学生、卒業生まで、大阪大学を支えるすべてのメンバーが深く心にとめ、それぞれの場所からその遂行に取り組む。以下では2008年という時点でのその取り組みの大きな方向性が示される。全学をあげてのこうした取り組みを通じて、教育・研究から社会連携、大学運営まで、「阪大スタイル」として自他ともに認めうるような、そして全国の諸大学のモデルとなりうるような、「阪大ならではの」特色ある活動と運営のスタイルを築きあげてゆく。「阪大人」としてのプライドとアイデンティティはそのなかではじめて、確固としたものとして生まれるはずである。

#### 研究

研究における「基本」と「ときめき」と「責任」を強く意識しながら、基礎研究に深く根を下ろしつつ、科学の新しい地平を切りひらくような先端的な研究をさらに推進する。また、同時代の社会が直面している困難な諸問題に真摯に取り組むことで、社会に対する科学研究の責任を全うする。研究の活力を最大限に発揮し、国内外の学術機関、企業、行政と強く連携しながら、世界最高レベルの研究拠点大学としての大阪大学の国際的なプレゼンスを高める。

#### 教育

高度な専門的知識をもちながら、同時に広い視野と豊かな教養をもって、確かな社会的判断のできる研究者・職業人を育てるため、とくに高学年次における教養教育(大学院では、研究科や専門分野を横断する「高度副プログラム」)に力を入れる。そのために、実地での《フィールドワーク》を授業のなかに積極的に取り込みつつ、「教養」(広い視野に立った確かな社会的判断力)と「デザイン力」(自由なイマジネーションと横断的なネットワーク構成力)と「国際性」(異なる文化的背景をもつ人をよく理解するコミュニケーション能力)を伸ばすことで、問題を複眼的に見る資質を育む。

#### 産学連携

“Industry on Campus”を標語として、産業界と大学とが連携して産業創出拠点を構築してゆくための制度設計と施設整備をおこなう。

#### 社会学連携

大阪大学21世紀懐徳堂を拠点とし、市民グループ・NPOの活動ならびに「企業の社会的責任」(Corporate Social Responsibility)の事業と協力して、多彩な文化・教育事業を推進することで、地域の文化機関としての大学の社会的責任を果たす。

#### 国際交流

旧大阪外国語大学との統合の成果を活かして、「国際感覚」の涵養のための教育を強化する。そのために、まずは学生の外国語運用能力を飛躍的に高め、在学中に海外留学経験をもてるよう大胆な教育改革に取り組む。また、国際感覚をそなえた職員の養成をはじめとする学内の国際化、海外からの研究者・留学生の研究・修学・生活のための環境整備をおこなうことで、国際的な文化機関としての大学の責任を果たす。

#### キャンパス

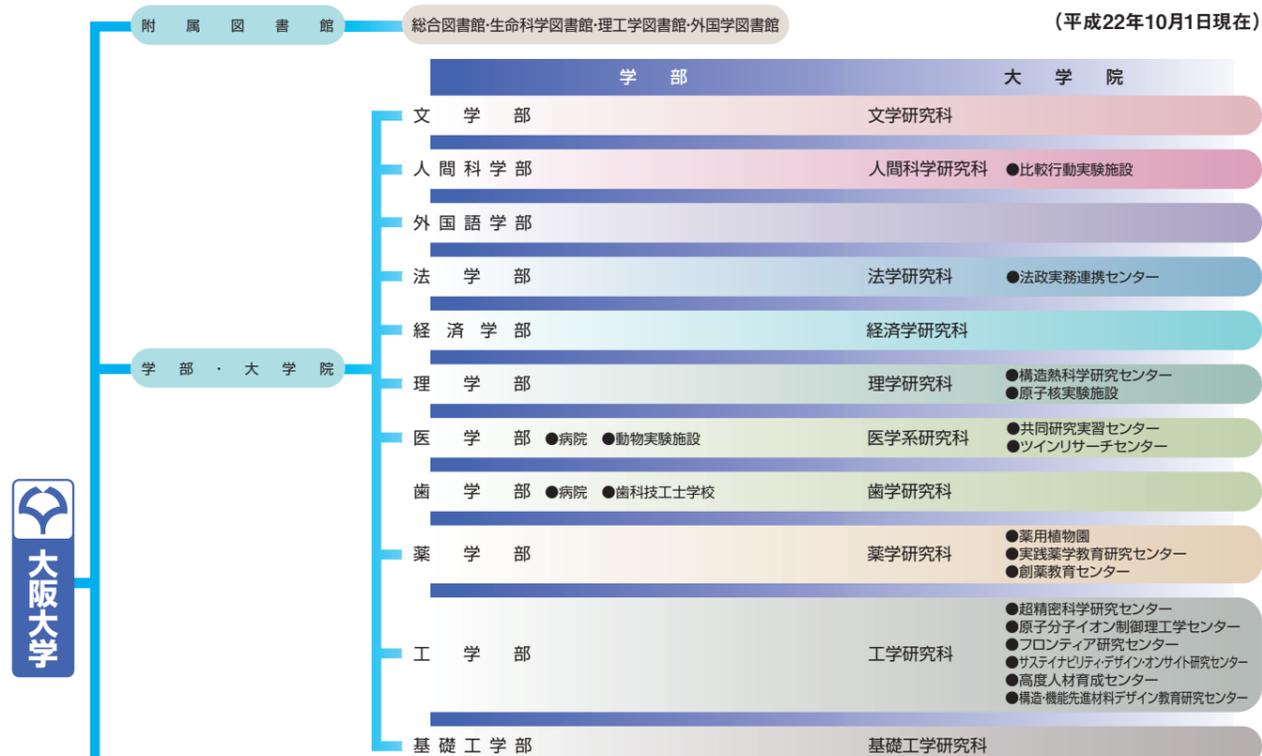
キャンパスを、〈多様性〉と〈持続可能性〉のモデル空間として、また卒業後も思い出に残る心地よい空間として、整備する。中之島地区を大阪大学の第四のキャンパス「中之島キャンパス」として位置づけ、中之島センターを産学連携・社会学連携の活動と社会人教育の拠点として再整備することで、大阪の文化と産業の活性化に貢献する。

#### 大学運営

教育内容を充実させ、冒険的な研究に取り組み、社会学連携事業を活性化するにあたって、市民や企業からの厚いサポートが得られるよう、宛先の明確な、そして受け手の側に立った広報活動を展開する。また、大学における教育・研究・社会学連携の財政的基盤をより強固なものとするために、募金の推進と基金の確立に組織的に取り組む。

以上の、教育・研究・社会学連携における九つの取り組みを、全国の大学のモデルとなりうるような「阪大スタイル」として確立する。そしてこの「阪大スタイル」の確立に、教員・学生・職員がそれぞれに積極的に参加することを通じて、「阪大人」「阪大生」としての確かなプライドを培ってゆく。

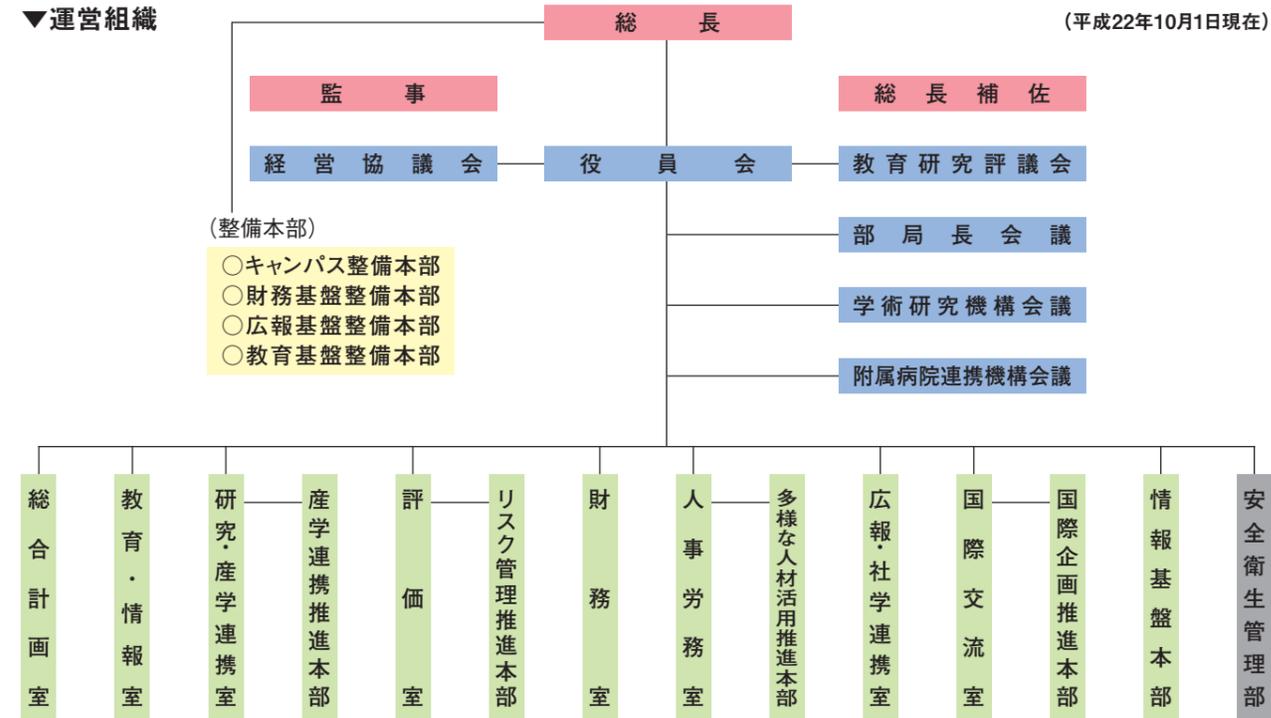
2008年11月



共通教育本館(1号館)

大阪大学は、国立大学の法人化に伴い、新たな管理運営組織のもとに、教育・研究・社会貢献を行う国立大学法人として新たなスタートを切りました。  
また、平成19年10月には、大阪外国語大学と統合し、新しい「大阪大学」として生まれ変わりました。  
吹田、豊中、箕面の3キャンパスに分かれ、総面積約167万㎡。教職員は約8,900名、学生数は約2万4千人にのぼっています。

## ▼運営組織



## ▼経営協議会委員

国立大学法人法第20条の規定に基づき設置。学長、理事、学外有識者等で組織し、中期計画及び年度計画に関する事項等について審議する。(平成22年10月2日現在)

### 学外委員

国際日本文化研究センター所長	猪木 武徳
西日本電信電話(株)代表取締役社長	大竹 伸一
日本私立学校振興・共催事業団理事長、前関西大学学長	河田 悌一
ジャーナリスト	川名 紀美
伊藤忠商事(株)代表取締役会長	小林 栄三
東洋炭素(株)代表取締役会長	近藤 純子
福井工業大学学長	城野 政弘
阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役社長	角 和夫
パナソニック(株)代表取締役会長	中村 邦夫
(財)りそなアジア・オセアニア財団理事長	野村 正朗
兵庫医療大学副学長	馬場 明道
(株)堀場製作所代表取締役会長兼社長	堀場 厚
関西電力(株)取締役会長	森 詳介
(独)医薬基盤研究所理事長	山西 弘一

(五十音順)

### 学内委員

総長	鷲田 清一
理事・副学長	西田 正吾
	小泉 潤二
	西尾 章治郎
	土井 健史
	門田 守人
	尾山 眞之助
	高杉 英一
	辻 毅一郎
法学研究科長	中尾 敏充
工学研究科長	馬場 章夫
医学系研究科長	平野 俊夫
核物理研究センター長	岸本 忠史
医学部附属病院長	福澤 正洋

## ▼役職員

総長	鷲田 清一
理事・副学長	西田 正吾
	小泉 潤二
	西尾 章治郎
	土井 健史
	門田 守人
	尾山 眞之助
	高杉 英一
	辻 毅一郎

(平成22年8月26日現在)

監事	関 順一郎
	山崎 優
総長補佐	大竹 文雄
	木下 夕口ウ
	杉本 孝司
	中田 一博
	馬場 章夫
	東島 清
	福澤 正洋

# 大学院・学部・研究所等

## ▼大学院

研究科	専攻	学位名
文学研究科	文化形態論	修士(文学)
	文化表現論	博士(文学)
人間科学研究科	文化動態論	修士(文学)
	人間科学	修士(人間科学)
法学研究科	グローバル人間学	博士(人間科学)
	法学・政治学	修士(法学)
経済学研究科	経済学	修士(経済学・応用経済学・経営学)
	経営学	博士(経済学・応用経済学・経営学)
理学研究科	数学	修士(理学)
	物理学	
	生物科学	
	高分子科学	
医学系研究科	宇宙地球科学	博士(医学)
	生体生理医学	
	病態制御医学	
	予防環境医学	
	内科系臨床医学	
	外科系臨床医学	
歯学研究科	医科学	修士(医科学)
	保健学	修士(保健学・看護学)
薬学研究科	統合機能口腔科学	博士(歯学)
	分子病態口腔科学	博士(歯学)
薬学研究科	分子薬科学	博士(薬学・臨床薬学)
	応用医薬薬科学	博士(薬学・臨床薬学)
	生命情報環境科学	修士(薬科学)
	創成薬学	修士(薬科学)

## ▼学部

学部	学科	学位名
文学部	人文学科	学士(文学)
人間科学部	人間科学科	学士(人間科学)
外国語学部	外国語学科	学士(言語・文化)
法学部	法学科	学士(法学)
	国際公共政策学科	学士(法学)
経済学部	経済・経営学科	学士(経済学)
理学部	数学科	学士(理学)
	物理学科	
	化学科	
医学部	生物科学科	学士(医学)
	医学科	
	保健学科	学士(看護学・保健衛生学)
歯学部	歯学科	学士(歯学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
	薬科学科	学士(薬科学)
工学部	応用自然科学科	学士(工学)
	応用理工学科	
	電子情報工学科	
	環境・エネルギー工学科	
基礎工学部	地球総合工学科	学士(工学)
	電子物理科学科	
	化学応用科学科	
	システム科学科	
	情報科学科	

## ▼世界トップレベル研究拠点

施設名	設置目的
免疫学フロンティア研究センター	世界トップレベルの「目に見える拠点形成」を目的とした、文部科学省の「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択され、平成19年10月に免疫学研究の第一人者である審良静男教授を拠点長として発足した組織です。免疫学とイメージング技術の融合を通して免疫系を構成する個々の細胞の特性や相互作用を解析するとともに、免疫細胞動態の制御を基盤とした免疫操作技術を開発し、もって感染症、自己免疫疾患、アレルギー疾患、がんその他の重大な疾患に対する新たな免疫療法の確立を図ることを目的としています。

(平成22年10月1日現在)

研究科	専攻	学位名
工学研究科	生命先端工学	修士(工学)
	応用化学	
	精密科学・応用物理学	
	知能・機能創成工学	
	機械工学	
	マテリアル生産科学	
	電気電子情報工学	
	環境・エネルギー工学	
基礎工学研究科	地球総合工学	修士(工学)
	ビジネスエンジニアリング	
	物質創成	
	機能創成	
言語文化研究科	システム創成	修士(工学)
	言語文化	
	言語社会	
国際公共政策研究科	国際公共政策	修士(国際公共政策)
	比較公共政策	
情報科学研究科	情報基礎数学	修士(情報科学・理学・工学)
	情報数理学	
	コンピュータサイエンス	
	情報システム工学	
	情報ネットワーク学	
	マルチメディア工学	
	バイオ情報工学	
	生命機能研究科	
高等司法研究科	法務	法務博士(専門職)
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所	小児発達学	博士(小児発達学)

## ▼附置研究所※

研究所名	設置目的
微生物病研究所	微生物病、免疫、がん及び特定の難治疾患に関する基礎及びその応用研究を行う事を目的とする。
産業科学研究所	産業に必要となる先端的な事項で材料、情報及び生体に関するものの総合研究を目的とする。
蛋白質研究所	生命の基礎物質としての蛋白質の本質を解明する研究を深化させることを主な目的とする。
社会経済研究所	現代の経済問題を理論的、実証的に研究することを目的とする。
接合科学研究所	循環型社会に適合した新しいコンセプトによる溶接・接合の学問体系を構築し、その理論の生産設計・製作への適用、溶接・接合構造物の保持・延命に関する科学技術の確立を目的とする。

## ▼全国共同利用施設※

施設名	設置目的
核物理研究センター	原子核物理学の基礎研究を行うとともに、全国共同利用施設として全国の大学その他の研究機関の研究者の共同利用に供することを目的とする。
サイバーメディアセンター	全国共同利用施設として、情報処理技術基盤の整備、提供及び研究開発、情報基盤に支えられた高度な教育の実践並びに知的資源の電子的管理及び提供を行うことを目的とする。
レーザーエネルギー学研究所	レーザーエネルギー学の基礎及び応用に関する研究・教育を推進するとともに、その施設を学内、他の大学又は研究機関等の研究者の共同利用に供することを目的とする。

※附置研究所及び全国共同利用施設については、文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」に認定されています。

## ▼その他学内共同教育研究施設

低温センター	超高圧電子顕微鏡センター	ラジオアイントップ総合センター
環境安全研究管理センター	国際教育交流センター	生物工学国際交流センター
極限量子科学研究センター	太陽エネルギー化学研究センター	総合学術博物館
大学教育実践センター	先端科学イノベーションセンター	保健センター
臨床工学融合研究教育センター	コミュニケーションデザインセンター	金融・保険教育研究センター
科学教育機器リノベーションセンター	グローバルコラボレーションセンター	世界言語研究センター
日本語日本文化教育センター	環境イノベーションデザインセンター	ナノサイエンスデザイン教育研究センター
知的財産センター		

# 教職員数

## ▼教職員数

(平成22年5月1日現在)

区分	教員						研究員 (特任研究員 常勤)	事務・技術・教務職員				医療職	合計	嘱託 職員等	非常勤 教員等	非常勤 職員	
	教授	准教授	講師	助教	助手	各種講師		事務	技術	教務	小計						
文学研究科・文学部	55	19	3	18			95		18(2)		2	20	115		10	30	
人間科学研究科・人間科学部	43	21	4	26(5)			94	4	14(3)			14	112		7	32	
外国語学部							0		15	1		16	16			10	
法学研究科・法学部	19	11	3		3		36		15			15	51		4	15	
経済学研究科・経済学部	26	17	3		3		51		15			15	66		5	26	
理学研究科・理学部	68	61(2)	16	75	1		221	7	35	15		50	278	6	40	83	
医学系研究科・医学部	89(16)	100(23)	49(6)	286(54)	2		526	7	67(25)	20(2)		87	620		109	315	
歯学研究科・歯学部	19	20(1)	9	44		3	95		39(5)			39	135	1	3	37	
薬学研究科・薬学部	15	12(2)	2	26(3)			55	3	13(1)	2		15	73		7	22	
工学研究科・工学部	150(4)	133(12)	31(12)	171(24)			485	17	87(7)	40	1	128	630	5	124	217	
基礎工学研究科・基礎工学部	60(3)	48(2)	4	77(10)	1		190	1	44(1)	9		53	244	6	18	61	
言語文化研究科	44	47(6)	1	1			93		11			11	104	2	2	11	
国際公共政策研究科	16	11		3	1		31		0			0	31		3	12	
情報科学研究科	27	33(3)		29(6)			89	5	10(2)	5(2)		15	109		16	43	
生命機能研究科	25(3)	25(4)	1(1)	31(8)			82	6	10(2)			10	98		58	34	
高等司法研究科	18	6					24					0	24		5		
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所	4(1)	5(2)	1	7(6)			17					0	17		9	5	
附属図書館							0		52			52	52			81	
医学部附属病院	3(1)	9(2)	11(2)	39(14)			62	4	118(10)	49(22)		167	1,092(49)	1,325	5	505	136
歯学部附属病院	2	3	18	12			35					0	70(2)	105	1	174	23
微生物病研究所	21(5)	20(4)	2(2)	33(6)			76	22	18(4)	3(1)	3	24	122	1	36	50	
産業科学研究所	27(3)	33(1)		61(15)			121	5	20(7)	11		31	157	3	54	63	
蛋白質研究所	14	14(4)		22			50		10	7		17	67		74	48	
社会経済研究所	10(1)	4(1)	3	2(2)	2		21	2	6			6	29		6	12	
接合科学研究所	10	11(2)	4(1)	6(1)			31		7	5		12	43		26	24	
低温センター				2			2					0	2			3	
超高圧電子顕微鏡センター	1	2	1				4			2		2	6	1	8	4	
ラジオアイントップ総合センター	1	1		2			2		1			1	3			3	
環境安全研究管理センター	1		1	1			3					0	3			2	
国際教育交流センター	5	6(1)	1	3(3)			15		5(5)			5	20			11	
生物工学国際交流センター	2			3			5		1			1	6		3	3	
極限量子科学研究センター	3	2		3(1)			8					2	10	1	8	3	
太陽エネルギー化学研究センター	2	2		1(1)			5			1		1	6		4	2	
総合学術博物館	2	3		2			7					0	7			4	
大学教育実践センター	13	6		2			21		12	1		13	34			27	
先端科学イノベーションセンター	10(3)	1		9(4)			20					0	20		60	11	
保健センター	5	3	1	3			12		3			3	21	2	2	19	
臨床工学融合研究教育センター	2(2)	4(4)	6(6)	5(5)			17					0	17		1	2	
コミュニケーションデザインセンター	8(1)	5(3)	2(2)	1(1)			16	1	3			3	20		3	2	
金融・保険教育研究センター			1(1)	2(2)			3					0	3		2	3	
科学教育機器リノベーションセンター		1		1			2	2		12(1)		12	16		1	2	
グローバルコラボレーションセンター	1	5(3)	1(1)	3(3)			10	1	0			0	11		3		
世界言語研究センター	21	49(22)	11(5)	8(8)			89		8			8	97		4	10	
日本語日本文化教育センター	8	10		18			26					0	18			5	
サステイナビリティ・デザインセンター			1(1)	1(1)			2					0	2		1		
ナノサイエンスデザイン教育研究センター		1(1)	1(1)	2(2)			4					0	4		15		
核物理研究センター	4(1)	6		8(2)			18	1	7	5		12	31		7	18	
サイバーメディアセンター	6	9(1)	4(1)	10(4)			29	1	29			0	30		3	2	
レーザーエネルギー学研究所	10(1)	10		10(1)			30	4	7(1)	12(1)		19	53		13	23	
免疫学フロンティア研究センター	5(5)	12(12)	1(1)	8(8)			26	32	24(20)	31(31)		55	113		7	3	
学際融合教育研究センター	3(2)						3					0	3				
本部事務機構	5(3)	5(2)	5(2)	4(2)			19	1	322(26)	43		365	385	8	52	217	
文書館設置準備室				1			1					0	1			2	
バイオ関連多目的研究施設							0		1(1)	1(1)		2	2				
大型教育研究プロジェクト支援室	1(1)			6(6)			7	2	5(5)	3(3)		8	17		7	21	
合計	884(56)	806(120)	203(45)	1,069(208)	13	3	2,978	128	1,022(127)	281(64)	6	1,309	1,169(51)	5,584	42	1,499	1,792

※派遣・休職・育休は含まない。 ※文学研究科・総合学術博物館事務部については文学研究科・文学部、法学研究科・法学部、経済学研究科・経済学部、国際公共政策研究科事務部については経済学研究科・経済学部を含む。  
 ※海外拠点本部、安全衛生管理課、教育・情報室、人事労務室、情報基盤本部、産学連携推進本部、財務基盤整備本部、国際企画推進本部、障害学生支援室、ウェブデザインユニット、知的財産センターについては本部事務機構を含む。  
 ※( )は寄附講座教員、特任教職員(常勤)で内数。 ※図書館職員は事務を含む。 ※非常勤教員等は、特任教員、特任研究員、医員、研修医の合計。

## ▼教員の年度別職名別男女在職状況

年度	教授			准教授			講師			助教			合計		
	男	女	女性比率	男	女	女性比率	男	女	女性比率	男	女	女性比率	男	女	女性比率
平成19年度	742	34	4.4%	629	47	7.0%	146	26	15.1%	882	125	12.4%	2,399	232	8.8%
平成20年度	831	45	5.1%	695	86	11.0%	151	30	16.6%	906	139	13.3%	2,583	300	10.4%
平成21年度	840	47	5.3%	736	92										

# 学生数

現員の( )内は女子で内数

平成19年度(2007) 各年度5月1日現在

平成20年度(2008)

平成21年度(2009)

## ▼学部

学部名	入学定員		現員		入学定員		現員		入学定員		現員	
文学部	165		793	(478)	165		770	(465)	165		779	(453)
人間科学部	130	(10)	621	(352)	130	(10)	627	(362)	130	(10)	634	(355)
外国語学部※	—	—	—	—	580	(10)	4,157	(2,967)	580	(10)	3,778	(2,644)
法学部	170	(10)	783	(263)	250	(10)	857	(292)	250	(10)	951	(325)
経済学部	220	(10)	1,037	(266)	220	(10)	1,044	(234)	220	(10)	1,035	(238)
理学部	225		994	(196)	255		1,031	(201)	255		1,053	(213)
医学部	250	(30)	1,329	(646)	250	(30)	1,333	(650)	255	(30)	1,325	(647)
歯学部	60	(5)	393	(158)	60	(5)	392	(157)	60	(5)	384	(155)
薬学部	80		350	(136)	80		354	(134)	80		349	(133)
工学部	820		3,674	(358)	820		3,692	(361)	820		3,701	(365)
基礎工学部	420		1,970	(143)	435		1,947	(155)	435		1,948	(160)
計	2,540	(65)	11,944	(2,996)	3,245	(75)	16,204	(5,978)	3,250	(75)	15,937	(5,688)

注:入学定員の( )内は3年次編入学定員で外数 ※外国語学部については、旧大阪外国語大学の課程に所属する学生を含む。

## ▼大学院 博士課程(前期2年、後期3年)

研究科名	前期課程			後期課程			前期課程			後期課程			前期課程			後期課程		
	入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員	
文学研究科	82	192	(95)	41	290	(153)	75	207	(103)	41	276	(148)	75	188	(96)	41	247	(129)
人間科学研究科	79	181	(96)	38	183	(94)	89	194	(106)	42	177	(90)	89	200	(113)	42	183	(96)
法学研究科	35	62	(24)	12	50	(18)	35	55	(22)	12	48	(16)	35	75	(33)	12	46	(9)
経済学研究科	73	142	(42)	25	116	(19)	83	171	(54)	25	95	(15)	83	167	(40)	25	88	(18)
理学研究科	258	584	(116)	126	290	(43)	266	576	(121)	126	271	(35)	266	564	(109)	126	267	(34)
医学系研究科※1	46	154	(99)	23	110	(64)	46	156	(96)	23	105	(61)	46	155	(101)	23	95	(58)
薬学研究科	70	211	(86)	32	88	(21)	70	203	(83)	32	84	(24)	70	203	(84)	32	86	(22)
工学研究科	542	1,619	(182)	184	533	(70)	542	1,666	(183)	184	487	(72)	542	1,681	(176)	184	487	(72)
基礎工学研究科	183	558	(50)	70	170	(20)	205	583	(43)	70	166	(19)	205	580	(39)	70	139	(15)
言語文化研究科	30	66	(51)	15	87	(61)	67	120	(94)	28	99	(71)	67	181	(132)	28	111	(78)
国際公共政策研究科	35	100	(54)	21	77	(38)	35	90	(55)	21	71	(36)	35	98	(64)	21	75	(38)
情報科学研究科	109	312	(30)	43	146	(11)	121	308	(25)	43	146	(11)	121	294	(20)	43	108	(8)
言語社会研究科※2	—	—	—	—	—	—	—	121	(83)	—	70	(46)	—	27	(17)	—	46	(29)
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 連合小児発達学研究所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	13	(8)
計	1,542	4,181	(925)	630	2,140	(612)	1,634	4,450	(1,068)	647	2,095	(644)	1,634	4,413	(1,024)	657	1,991	(614)

※1 医学系研究科(保健学専攻) ※2 旧大阪外国語大学

## 修士課程(2年)

研究科名	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員
文学研究科	—	—	19	21	19	21
計	—	—	19	21	19	21

## 修士課程(2年)・博士課程(4年)

研究科名	修士課程(2年)			博士課程(4年)			修士課程(2年)			博士課程(4年)			修士課程(2年)			博士課程(4年)		
	入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員		入学定員	現員	
医学系研究科	20	54	(32)	172	609	(156)	20	54	(37)	172	619	(163)	20	61	(37)	172	625	(161)
歯学研究科	—	—	—	55	194	(77)	—	—	—	55	189	(77)	—	—	—	55	168	(61)
計	20	54	(32)	227	803	(233)	20	54	(37)	227	808	(240)	20	61	(37)	227	793	(222)

## 博士課程(5年一貫制)

研究科名	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員
生命機能研究科	55	298	55	284	55	262
計	55	298	55	284	55	262

## 法科大学院課程(3年)

研究科名	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員
高等司法研究科	100	335	100	325	100	297
計	100	335	100	325	100	297

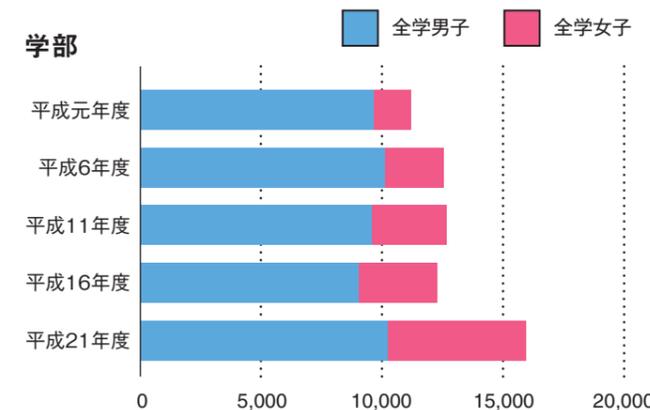
研究科名	博士前期、修士及び法科大学院の課程		博士後期及び博士課程		博士前期、修士及び法科大学院の課程		博士後期及び博士課程		博士前期、修士及び法科大学院の課程		博士後期及び博士課程	
	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員
総計	1,662	4,570(1,050)	912	3,241(929)	1,773	4,850(1,214)	929	3,187(970)	1,773	4,810(1,174)	939	3,046(912)

## ▼専修学校

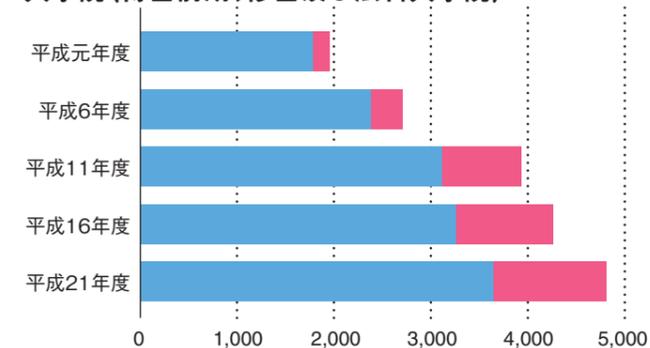
学部名	入学定員	現員	入学定員	現員	入学定員	現員
歯学部附属歯科技工士学校	20	41	20	41	20	39

## ▼過去21年間の学生数の推移

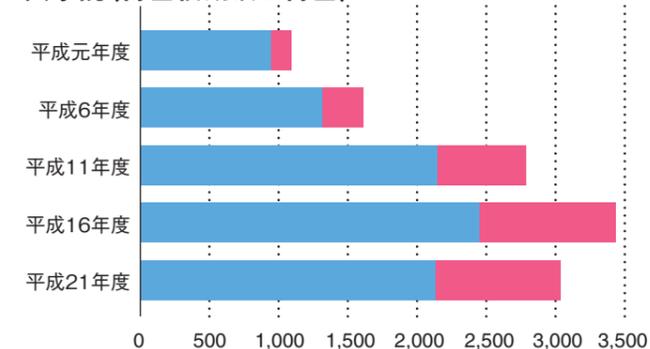
学部学生の数は、平成19年度まではほぼ12,000名で一定でしたが、大阪外国語大学との統合によって増加し、平成20年度から16,000名ほどになりました。女子学生の数も3,000名から6,000名へと倍増しました。大学院生の数は、入学定員の増加に合わせて順調に増加しましたが、この5年間で博士後期課程の学生は、減少しています。また、女子学生の割合は、大学院においても近年大幅に増加し、博士前期課程の4分の1、博士後期課程の3分の1が女子学生です。



## 大学院(博士前期、修士及び法科大学院)



## 大学院(博士後期及び博士)



# 入学者状況

## ▼学部別志願者及び入学者数

平成19年度(2007)

学部名	文学部	人間科学部	外国語学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	基礎工学部	計
入学定員	165	130	—	170	220	225	250	60	80	820	420	2,540
志願者	810	498	—	676	900	907	782	218	283	3,045	1,535	9,654
入学者	174	140	—	179	237	237	267	60	83	872	445	2,694
女子学生(内数)	(107)	(72)	—	(65)	(77)	(51)	(151)	(31)	(31)	(101)	(30)	(716)

平成20年度(2008)

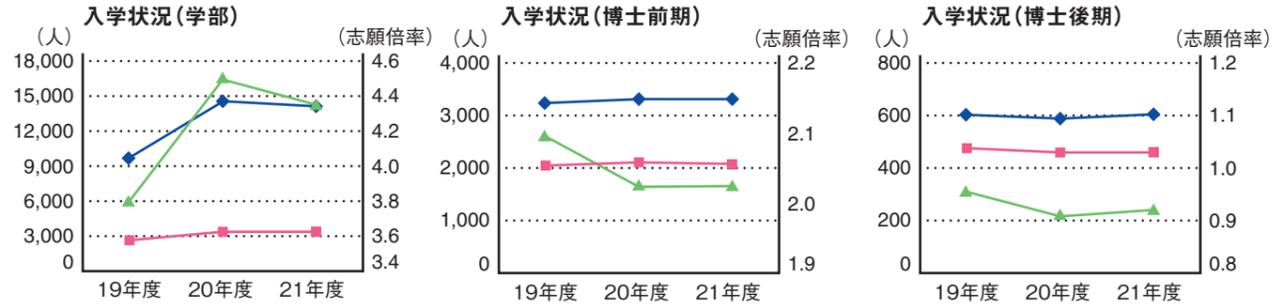
学部名	文学部	人間科学部	外国語学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	基礎工学部	計
入学定員	165	130	580	250	220	255	250	60	80	820	435	3,245
志願者	730	483	2,787	1,036	1,231	1,287	891	201	420	3,676	1,853	14,595
入学者	172	137	620	268	241	268	260	62	90	883	444	3,445
女子学生(内数)	(101)	(86)	(430)	(102)	(34)	(50)	(145)	(25)	(35)	(91)	(42)	(1,141)

平成21年度(2009)

学部名	文学部	人間科学部	外国語学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	基礎工学部	計
入学定員	165	130	580	250	220	255	255	60	80	820	435	3,250
志願者	742	568	3,023	996	1,157	1,238	900	188	375	3,197	1,772	14,156
入学者	174	139	619	260	238	266	270	61	85	864	451	3,427
女子学生(内数)	(90)	(70)	(417)	(94)	(57)	(60)	(155)	(21)	(32)	(78)	(41)	(1,115)

## ▼入学者状況の推移

◆ 志願者 ■ 入学者 ▲ 志願倍率



## ▼大学院研究科別志願者数及び入学者数

平成19年度(2007)

研究科名	博士前期課程				博士後期課程			
	入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)	入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)
文学研究科	82	195	89	(47)	41	71	46	(19)
人間科学研究科	79	234	79	(40)	38	66	40	(19)
法学研究科	35	43	22	(8)	12	21	14	(5)
経済学研究科	73	153	70	(26)	25	34	20	(2)
理学研究科	258	486	287	(60)	126	71	67	(5)
医学系研究科(保健学)	46	130	83	(54)	23	34	24	(13)
薬学研究科	70	186	105	(41)	32	33	31	(9)
工学研究科	542	1,004	799	(84)	184	129	120	(21)
基礎工学研究科	183	382	279	(23)	70	42	41	(4)
言語文化研究科	30	79	30	(23)	15	33	20	(12)
国際公共政策研究科	35	126	39	(25)	21	25	10	(7)
情報科学研究科	109	214	160	(17)	43	43	42	(3)
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 連合小児発達学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,542	3,232	2,042	(448)	630	602	475	(119)

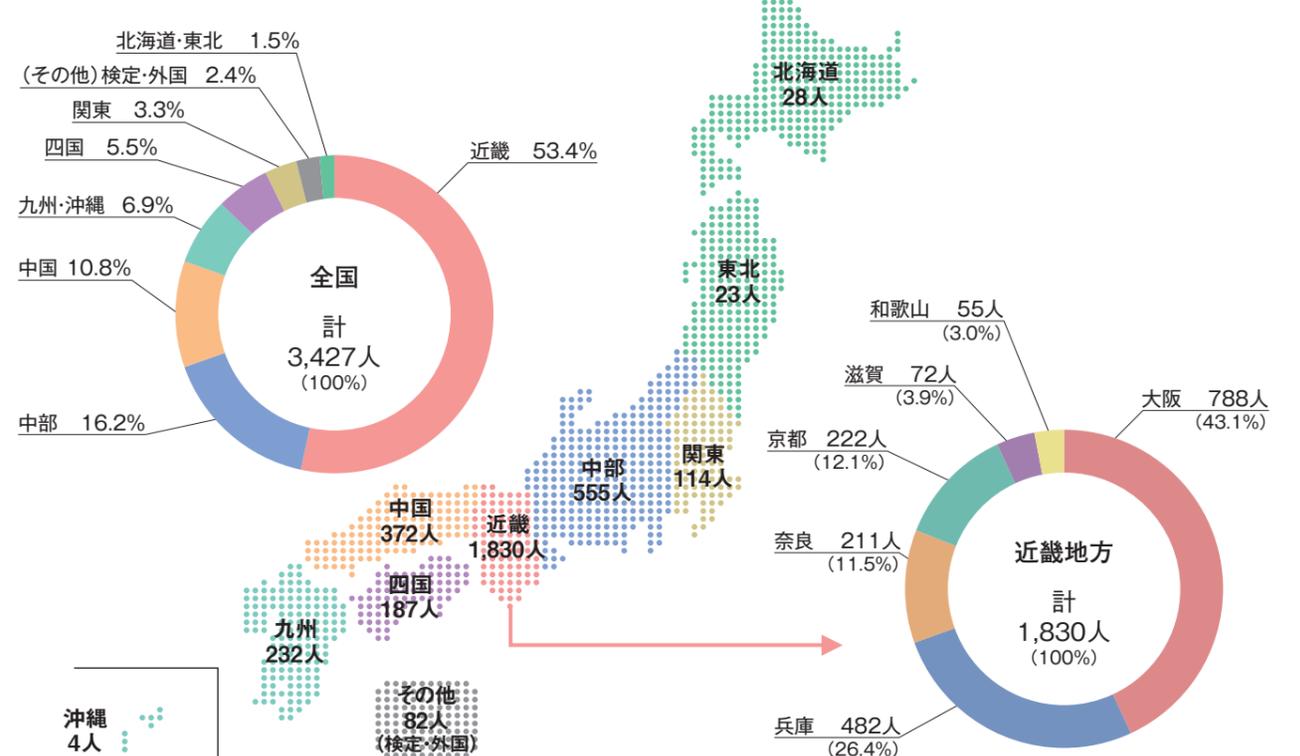
研究科名	修士課程			
文学研究科	—	—	—	—
計	0	0	0	(0)

研究科名	修士課程				博士課程			
医学系研究科	20	87	22	(17)	172	164	134	(36)
歯学研究科	—	—	—	—	55	65	54	(21)
計	20	87	22	(17)	227	229	188	(57)

研究科名	博士課程(5年一貫制)			
生命機能研究科	55	168	72	(27)
計	55	168	72	(27)

研究科名	法科大学院の課程(3年)			
高等司法研究科	100	1,197	124	(39)
計	100	1,197	124	(39)

## ▼平成21年度出身高校所在地別入学者数(学部)



入学者状況に関しては、各学部において年度ごとの変動は認められるものの、概ね安定した志願者数を維持しています。平成20年度から募集が始まった外国語学部も多数の志願者が見られます。出身高校所在地別に入学者をみてみますと、依然として近畿圏からの入学者が半数を超え、その他は、中部および西日本全域から多くの入学者を受け入れています。

平成20年度(2008)

博士前期課程				博士後期課程			
入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)	入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)
75	163	84	(45)	41	66	47	(25)
89	247	90	(52)	42	63	37	(19)
35	72	26	(11)	12	16	9	(1)
83	172	90	(22)	25	19	12	(1)
266	455	277	(58)	126	81	75	(9)
46	108	72	(42)	23	41	26	(14)
70	161	97	(41)	32	29	29	(8)
542	1,047	814	(83)	184	107	102	(17)
205	374	291	(17)	70	38	38	(5)
67	154	75	(61)	28	61	30	(23)
35	140	42	(25)	21	23	12	(5)
121	212	146	(9)	43	43	42	(3)
—	—	—	—	—	—	—	—
1,634	3,305	2,104	(466)	647	587	459	(130)

修士課程			
19	26	21	(13)
19	26	21	(13)

修士課程				博士課程			
20	82	33	(20)	172	166	148	(39)
—	—	—	—	55	53	48	(21)
20	82	33	(20)	227	219	196	(60)

博士課程(5年一貫制)			
55	170	56	(21)
55	170	56	(21)

法科大学院の課程(3年)			
100	1,006	95	(31)
100	1,006	95	(31)

平成21年度(2009)

博士前期課程				博士後期課程			
入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)	入学定員	志願者	入学者	女子学生(内数)
75	143	69	(35)	41	55	40	(17)
89	223	90	(50)	42	81	41	(21)
35	89	44	(19)	12	17	9	(1)
83	179	76	(15)	25	30	23	(8)
266	430	276	(51)	126	77	73	(12)
46	114	82	(56)	23	29	25	(19)
70	208	105	(42)	32	30	29	(6)
542	1,070	798	(74)	184	125	117	(11)
205	360	271	(18)	70	33	31	(2)
67	145	75	(48)	28	52	25	(17)
35	151	41	(27)	21	26	14	(7)
121	195	147	(9)	43	20	19	(2)
—	—	—	—	10	29	13	(8)
1,634	3,307	2,074	(444)	657	604	459	(131)

修士課程			
19	21	18	(12)
19	21	18	(12)

修士課程				博士課程			
20	86	27	(15)	172	176	153	(43)
—	—	—	—	55	36	32	(10)
20	86	27	(15)	227	212	185	(53)

博士課程(5年一貫制)			
55	161	69	(16)
55	161	69	(16)

法科大学院の課程(3年)			
100	776	99	24
100	776	99	24

## 平成19年度(2007)

学部名	区分	旧制	新制		平成19年度卒業生の卒業後の状況					
			平成19年度卒業生	累計	進学(大学院)	就職				その他(臨床研修医を含む)
						企業	官公庁	教員	計	
文学部		114	188	6,196	45	101	11	6	118	25
人間科学部		—	145	4,042	42	69	7	1	77	26
外国語学部(昼)		—	689	689	53	429	23	15	467	169
法学部		223	193	9,090	56	72	18	—	90	47
経済学部		233	237	10,500	25	170	8	—	178	34
理学部		1,119	213	9,703	176	23	—	6	29	8
医学部		2,489	276	7,469	56	107	11	1	119	101
歯学部		—	64	2,769	—	—	—	—	—	64
薬学部		—	84	4,171	67	12	—	—	12	5
工学部		4,598	841	37,729	710	98	13	—	111	20
基礎工学部		—	454	16,244	367	74	5	—	79	8
計		8,776	3,384	108,602	1,597(47.2%)	1,155(34.1%)	96(2.8%)	29(0.9%)	1,280(37.8%)	507(15.0%)
歯学部附属歯科技工士学校			20	826	4	15	1	0	16	0

## 平成20年度(2008)

学部名	区分	旧制	新制		平成20年度卒業生の卒業後の状況					
			平成20年度卒業生	累計	進学(大学院)	就職				その他(臨床研修医を含む)
						企業	官公庁	教員	計	
文学部		114	165	6,361	35	89	12	6	107	23
人間科学部		—	139	4,181	28	88	15	2	105	6
外国語学部(昼)		—	754	1,443	39	570	28	10	608	107
法学部		223	171	9,261	68	63	17	—	80	23
経済学部		233	247	10,747	15	192	10	—	202	30
理学部		1,119	229	9,932	190	23	1	5	29	10
医学部		2,489	290	7,759	63	104	9	3	116	111
歯学部		—	63	2,832	—	—	—	—	—	63
薬学部		—	89	4,260	60	12	1	—	13	16
工学部		4,598	852	38,581	727	94	7	—	101	24
基礎工学部		—	432	16,676	354	66	5	1	72	6
計		8,776	3,431	112,033	1,579(46.0%)	1,301(37.9%)	105(3.1%)	27(0.8%)	1,433(41.8%)	419(12.2%)
歯学部附属歯科技工士学校			18	844	0	9	0	0	9	9

## 平成21年度(2009)

学部名	区分	旧制	新制		平成21年度卒業生の卒業後の状況					
			平成21年度卒業生	累計	進学(大学院)	就職				その他(臨床研修医を含む)
						企業	官公庁	教員	計	
文学部		114	167	6,528	30	97	7	2	106	31
人間科学部		—	165	4,346	46	84	14	3	101	18
外国語学部(昼)		—	690	2,133	58	440	33	15	488	144
法学部		223	175	9,436	67	65	23	—	88	20
経済学部		233	215	10,962	16	162	13	—	175	24
理学部		1,119	234	10,166	204	11	1	7	19	11
医学部		2,489	283	8,042	54	101	11	1	113	116
歯学部		—	61	2,893	—	—	—	—	—	61
薬学部		—	58	4,318	55	1	1	—	2	1
工学部		4,598	846	39,427	743	78	3	1	82	21
基礎工学部		—	423	17,099	368	43	3	—	46	9
計		8,776	3,317	115,350	1,641(49.5%)	1,082(32.6%)	109(3.3%)	29(0.9%)	1,220(36.8%)	456(13.7%)
歯学部附属歯科技工士学校			19	863	6	11	0	0	11	2

## 平成19年度(2007)

研究科名	区分	前期課程		後期課程					
		平成19年度	累計	平成19年度			累計		
				課程	論文	計	課程	論文	計
文学研究科		59	2,162	41	12	53	345	251	596
人間科学研究科		70	1,084	19	5	24	210	103	313
法学研究科		32	687	5	3	8	76	39	115
経済学研究科		53	1,036	21	4	25	187	122	309
理学研究科		272	7,073	73	2	75	2,181	807	2,988
医学系研究科		97	1,198	143	51	194	3,360	3,365	6,725
歯学研究科		—	—	43	1	44	776	358	1,134
薬学研究科		98	2,303	27	8	35	569	638	1,207
工学研究科		761	21,783	160	27	187	3,217	2,869	6,086
基礎工学研究科		266	8,579	44	1	45	1,377	832	2,209
言語文化研究科		27	418	8	1	9	105	8	113
国際公共政策研究科		47	471	8	2	10	117	28	145
情報科学研究科		147	716	42	1	43	138	14	152
生命機能研究科		74	307	27	—	27	46	—	46
言語社会研究科※		78	78	13	—	13	13	—	13
計		2,081	47,895	674	118	792	12,717	9,434	22,151

※旧大阪外国語大学の課程

## 平成20年度(2008)

研究科名	区分	前期課程		後期課程					
		平成20年度	累計	平成20年度			累計		
				課程	論文	計	課程	論文	計
文学研究科		83	2,245	48	20	68	393	271	664
人間科学研究科		78	1,162	17	5	22	227	108	335
法学研究科		23	710	6	—	6	82	39	121
経済学研究科		74	1,110	20	1	21	207	123	330
理学研究科		274	7,347	68	3	71	2,249	810	3,059
医学系研究科		97	1,295	151	41	192	3,511	3,406	6,917
歯学研究科		—	—	49	1	50	825	359	1,184
薬学研究科		105	2,408	23	8	31	592	646	1,238
工学研究科		789	22,572	142	10	152	3,359	2,879	6,238
基礎工学研究科		276	8,855	54	6	60	1,431	838	2,269
言語文化研究科		24	442	12	2	14	117	10	127
国際公共政策研究科		29	500	9	1	10	126	29	155
情報科学研究科		156	872	49	1	50	187	15	202
生命機能研究科		68	375	35	—	35	81	—	81
言語社会研究科※		90	168	16	—	16	29	—	29
計		2,166	50,061	699	99	798	13,416	9,533	22,949

※旧大阪外国語大学の課程

## 平成21年度(2009)

研究科名	区分	前期課程		後期課程					
		平成21年度	累計	平成21年度			累計		
				課程	論文	計	課程	論文	計
文学研究科		88	2,333	45	18	63	438	289	727
人間科学研究科		84	1,246	37	3	40	264	111	375
法学研究科		27	737	5	1	6	87	40	127
経済学研究科		78	1,188	20	1	21	227	124	351
理学研究科		252	7,599	62	1	63	2,311	811	3,122
医学系研究科		100	1,395	150	31	181	3,661	3,437	7,098
歯学研究科		—	—	23	1	24	848	360	1,208
薬学研究科		94	2,502	22	6	28	614	652	1,266
工学研究科		794	23,366	144	12	156	3,503	2,891	6,394
基礎工学研究科		294	9,149	40	1	41	1,470	840	2,310
言語文化研究科		65	507	18	2	20	135	12	147
国際公共政策研究科		47	547	4	—	4	130	29	159
情報科学研究科		140	1,012	30	2	32	217	17	234
生命機能研究科		52	427	24	—	24	105	—	105
言語社会研究科※		17	186	13	—	13	42	—	42
計		2,132	52,194	637	79	716	14,052	9,613	23,665

※旧大阪外国語大学の課程

研究科名	区分		法務博士(専門職)	
	平成19年度	累計	平成19年度	累計
高等司法研究科			95	193

研究科名	区分		法務博士(専門職)	
	平成20年度	累計	平成20年度	累計
高等司法研究科			119	312

研究科名	区分		法務博士(専門職)	
	平成21年度	累計	平成21年度	累計
高等司法研究科			104	416

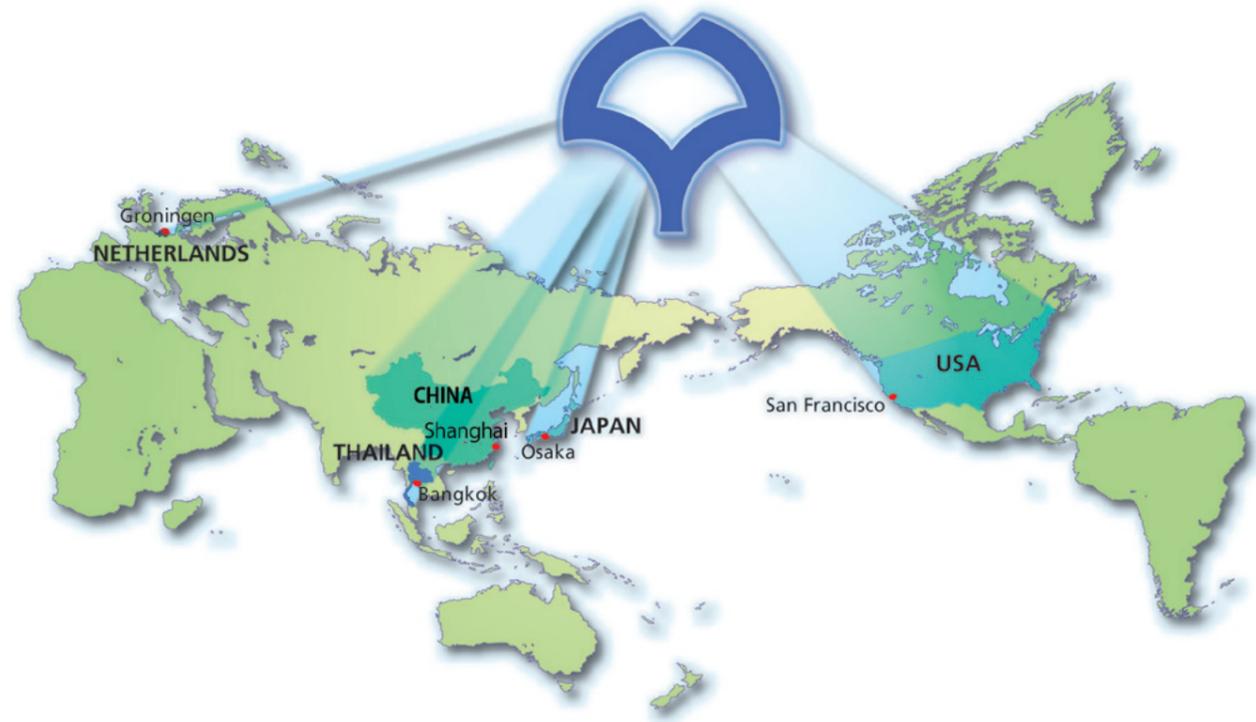
旧制学位授与者数	
文学博士	23
法学博士	6
経済学博士	29
理学博士	621
医学博士	3,553
工学博士	674
計	4,906



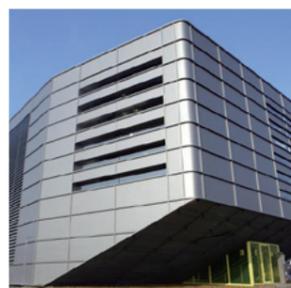


## 海外拠点

平成16年4月にサンフランシスコ(アメリカ合衆国)、平成17年4月にグローニンゲン(オランダ王国)、平成18年4月にバンコク(タイ王国)、そして平成22年2月に上海(中華人民共和国)に全部局の国際交流における諸活動をサポートするための海外拠点を設置しました。



グローニンゲン  
教育研究センター (オランダ)



バンコク  
教育研究センター (タイ)



上海  
教育研究センター (中国)



サンフランシスコ  
教育研究センター (アメリカ)



## ▼大学間交流協定締結大学一覧(79件)

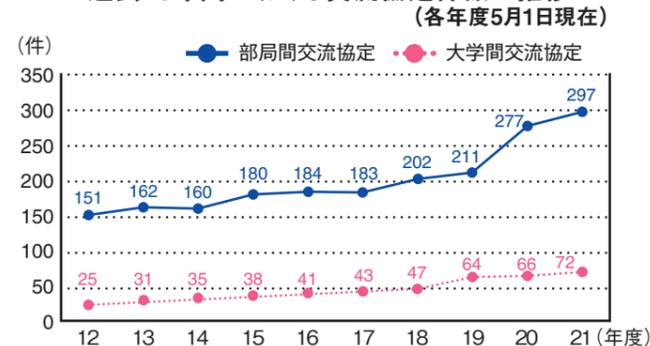
国名・地域名	相手大学等名	締結	
アメリカ	カリフォルニア大学	2002	
	ウェズリアンカレッジ※	2001	
	テキサスA&M大学	2001	
	ナザレスカレッジローチェスター校※	2001	
	ワシントン大学	1996	
イギリス	コーネル大学	1989	
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	2004	
インドネシア	ノッティンガム大学	1997	
	バンドン工科大学	2007	
オーストラリア	クィーンズランド大学	2010	
	モナシュ大学	1996	
オーストリア	オーストラリア国立大学	1995	
	ウィーン大学	2009	
オランダ	グローニンゲン大学	2002	
	デルフト工科大学	1998	
カナダ	日加戦略的留学生交流促進プログラム日本コンソーシアム※	2006	
	プリティッシュ・コロンビア大学	2000	
	マックマスター大学	1997	
	ケベック州大学学長校長協議会	1996	
	マギル大学	1996	
スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ校	2004	
	イエーテボリ大学	2007	
スウェーデン	カロリンスカ大学	2001	
	スウェーデン王立工科大学	2001	
スペイン	パリアドリード大学	2007	
	マドリッド自治大学	2003	
タイ	チェンマイ大学	2007	
	カセサート大学	2006	
	タマサート大学	2006	
	モンクット王トンプリ工科大学	2006	
	タイ王国保健省医科学局	2005	
	マヒドン大学	1997	
	チュラロンコン大学	1988	
	大韓民国	昌原大学校	2009
		中央大学校	2009
		漢陽大学校	2008
忠南大学校		2006	
慶尚大学校		2005	
ソウル大学校		2000	
延世大学校		1998	
全南大学校		1997	
釜山大学校		1995	

(平成22年5月1日現在)

国名・地域名	相手大学等名	締結
台湾	国立清華大学	2008
	国立台湾大学	2008
	国立成功大学	2006
	清華大学	2004
中華人民共和国	南京大學	2003
	浙江大學	2002
	復旦大學	2001
	北京大學	2001
	武漢大學	1996
	西安交通大學	1995
	上海交通大學	1994
デンマーク	コペンハーゲン大学	2007
	ビーレフェルト大学	2010
ドイツ	アウグスブルグ大学	2009
	エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学	2008
	アーヘン工科大学	2005
	ミュンヘン工科大学	1996
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2007
	フィリピン国立大学	2007
	デ・ラ・サル大学	2006
フィンランド	オーボアカデミー大学	1997
ブラジル	サンパウロ大学	2009
	パリ国立高等化学学院	2008
フランス	ピエール・マリイ・キュリー大学	2005
	フランス国立科学研究センター	2005
	日仏共同博士課程フランスコンソーシアム※	2003
	グルノーブル大学連合※	2000
	ストラスブール大学	2000
ベトナム	ホーチミン市国家大学	2007
	ハノイ国家大学	2002
ベルギー	ローマ教皇庁立ベルギー・カトリック大学	2007
ベルギー	ルーヴァンカトリック大学(UCL)	1996
メキシコ	メキシコ国立自治大学	2007
モンゴル	モンゴル国立大学	2000
ロシア	サンクトペテルブルク大学	2009
ドイツ、スウェーデン、オランダ	ICI-ECP日本政府と欧州連合(EU)の学生相互派遣プログラム※	2009

※学生交流のみ

## ▼過去10年間における交流協定件数の推移



## ▼過去5年間における留学した日本人学生数



## ▼学生の海外派遣状況

留学先国名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
アメリカ合衆国	17	93	52	8	10
カナダ	6	11	16	9	1
オーストラリア	2	16	10	5	5
イギリス	7	8	20	2	3
フランス	11	16	18	15	14
ドイツ	11	9	16	3	7
中国	6	5	19	3	5
その他	33	66	126	40	51
合計	93	224	277	85	96

国際交流も活発に行っており、特に部局間交流協定の数は、大阪外国語大学との統合により、平成19年度の211件から平成21年度には297件まで大幅に増加しました。大学間交流協定校もアジアやヨーロッパを中心に72校に増加しています。一方で海外に派遣される学生の数は、平成18・19年度と比べると、減少しています。

## ▼部局間交流協定締結国一覧(419件)

(平成22年5月1日現在)

部局名 国名	研究・教育機関																											計														
	文学部	人間科学部	外国語学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	基礎工学部	言語文化研究科	国際公共政策研究科	情報科学研究科	生命機能研究科	高等司法研究科	微生物病研究所	産業科学研究所	蛋白質研究所	社会経済研究所	接合科学研究所	電子顕微鏡センター	超高压	生物工学	化学研究センター	太陽エネルギー	融合研究教育センター		臨床医工学	デザインセンター	コミュニケーション	研究センター	世界言語	日本語	日本文化教育センター	核物理研究センター	サイバーメディアセンター	レーザーエネルギー学	研究センター	免疫学フロンティア	安全衛生管理部	
アメリカ	1	1	2	1	2	3	1	3	1	6	3	3		2			2		1	2	1												1		2	3	7		48			
イギリス	1		1		1	3		1		3		2			1		1										1					1	2		1			20				
イタリア						1				2	1	1															1	1				1						8				
イラン			5																																			11				
インド						1																														1		5				
インドネシア										1																											1	1	1			
ウクライナ																																						1	1			
ウズベキスタン																																						1	1			
エジプト			1									1		1																								5	5			
オーストラリア	1	1								1																										1		4	4			
オランダ				1		1	1					1					1																		1	1		7	7			
カザフスタン			1									1																										3	3			
カナダ				1	1	3																															3		9	9		
キューバ																			1																			1	1			
コンゴ																																						1	1			
シリア			2									2																								1		5	5			
シンガポール											1			1																						1		3	3			
スイス			1								1	1																								1		5	5			
スウェーデン		1					1																															2	2			
スペイン			1							1		1																									1	1	7	7		
スロバキア																																						2	2			
セルビア																																					1		2	2		
タイ			3								2	1	1	3																								3	15	15		
チェコ																																						1	1			
チュニジア			1											1																								2	2			
デンマーク														1		1																						2	2			
ドイツ	1	1	2	1		2	1	1		2	6	1		2	1																						1	1	28	28		
ドミニカ																																						1	1			
トルコ							1	1																														2	2			
ニュージーランド			1									1		1																							1		6	6		
ネパール										1																												1	1			
ノルウェー												1	1																									1	3	3		
パキスタン			2																																				2	2		
パナマ																																							1	1		
ハンガリー			2							1		2																											8	8		
フィリピン										1																													1	1		
フィンランド							1					1	1																										3	3		
ブラジル			1	1						1		1				1																					1		6	6		
フランス	2		3	2	2	1				4	1	2				2																					1	1	21	21		
ブルガリア																																							2	2		
ベトナム			4			2				6	4	4																										4		24	24	
ベルギー			1							2		1				1																						1		6	6	
ポーランド										1		1																										1	1	4	4	
ポルトガル			1																																				2	2		
マレーシア						2	1					1																											1	7	7	
メキシコ												1																											2	2		
モロッコ										1																													1	1		
ルーマニア												1	1																									1	3	3		
ロシア			3			2						5																										1	4	2	18	18
台湾					1	2				1				1			1																						7	7		
大韓民国			1	3			2	1		6	2	1	1	3			3																				5	1	1	41	41	
大韓民国/中華人民共和国																																						1		1	1	
中華人民共和国			7	2		3	4	1		4	3	4																										1	1	46	46	
南アフリカ																																							1	1		
総計	6	4	46	12	7	27	13	9	3	46	27	46	2	15	4		8	2	14	6	2	20	1	3	2	3	1	23	16	13	6	23	8	1		419	419					

※三角協定は部局別に分散して掲載。

## ▼附属図書館

平成19年度	蔵書数(図書)			入館者数			図書貸出		文献 複写件数	図書館間相互利用			
	和漢書	洋書	合計	学内者	学外者	合計	人数	冊数		現物貸借		文献複写	
										貸出 冊数	借受 冊数	受付 冊数	依頼 件数
総合図書館	1,199,307	1,128,654	2,327,961	523,407	17,516	540,923	84,737	174,935	24,552	2,260	2,560	3,570	4,302
生命科学図書館	142,327	336,580	478,907	149,269	9,300	158,569	14,479	26,288	138,865	158	542	30,648	4,011
理工学図書館	204,068	290,873	494,941	189,372	2,731	192,103	29,440	54,465	8,191	412	417	1,788	1,234
外国学図書館	328,276	267,417	595,693	151,572	2,122	153,694	25,869	48,071	5,215	1,194	802	819	1,081
合計	1,873,978	2,023,524	3,897,502	1,013,620	31,669	1,045,289	154,525	303,759	176,823	4,024	4,321	36,825	10,628

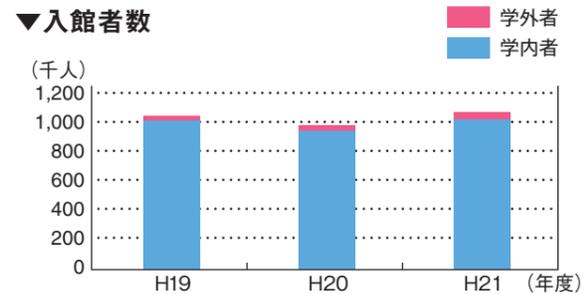
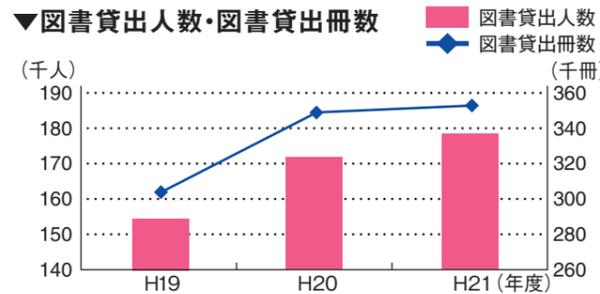
平成20年度	蔵書数(図書)			入館者数			図書貸出		文献 複写件数	図書館間相互利用			
	和漢書	洋書	合計	学内者	学外者	合計	人数	冊数		現物貸借		文献複写	
										貸出 冊数	借受 冊数	受付 冊数	依頼 件数
総合図書館	1,216,307	1,137,454	2,353,761	543,735	22,311	566,046	92,934	198,963	33,681	3,469	4,436	3,349	3,454
生命科学図書館	143,776	335,351	479,127	150,274	9,220	159,494	15,186	29,460	124,912	232	991	27,727	3,757
理工学図書館	202,422	281,817	484,239	152,315	2,693	155,008	29,591	55,391	5,372	570	826	1,130	1,204
外国学図書館	333,848	272,416	606,264	99,413	2,988	102,401	34,356	64,798	19,177	3,079	1,706	951	2,205
合計	1,896,353	2,027,038	3,923,391	945,737	37,212	982,949	172,067	348,612	183,142	7,350	7,959	33,157	10,620

平成21年度	蔵書数(図書)			入館者数			図書貸出		文献 複写件数	図書館間相互利用			
	和漢書	洋書	合計	学内者	学外者	合計	人数	冊数		現物貸借		文献複写	
										貸出 冊数	借受 冊数	受付 冊数	依頼 件数
総合図書館	1,222,918	1,132,284	2,355,202	621,471	27,454	648,925	97,944	200,051	63,511	3,925	4,795	3,111	3,170
生命科学図書館	139,435	331,426	470,861	135,002	10,422	145,424	15,275	29,621	101,287	329	1,058	24,902	3,955
理工学図書館	220,790	292,217	513,007	191,891	8,004	199,895	32,057	58,891	3,666	868	812	846	649
外国学図書館	335,084	283,571	618,655	78,627	3,153	81,780	33,478	64,127	16,643	3,199	2,016	926	1,670
合計	1,918,227	2,039,498	3,957,725	1,026,991	49,033	1,076,024	178,754	352,690	185,107	8,321	8,681	29,785	9,444

※平成19・20年度は総合図書館、生命科学図書館、理工学図書館、外国学図書館はそれぞれ本館、生命科学分館、吹田分館、箕面分館。

※平成20年度内に総合図書館および理工学図書館で耐震改修工事を実施。

※各館の数値は部局図書室分を含む。

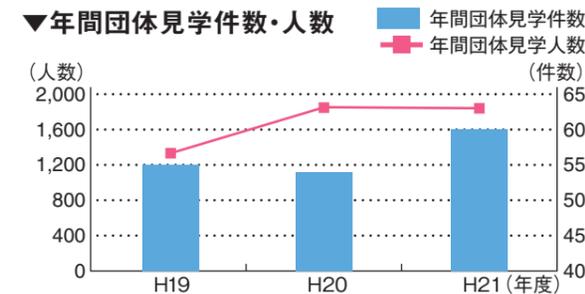
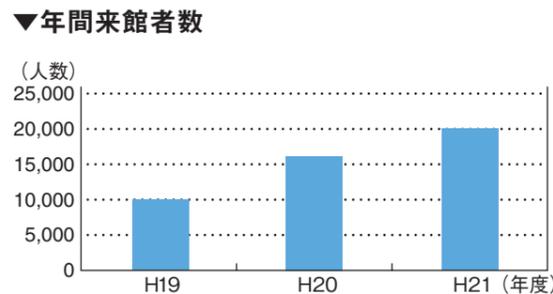


## ▼総合学術博物館

年度	年間来館者数	年間団体 見学数(人数)	企画展来館者数		特別展来館者数	
			回数	人数	回数	人数
平成19年度	10,038	55件(1,335名)	第6回 第7回	2,007 2,826	第2回	27,568
平成20年度	16,098	54件(1,855名)	第8回	3,890	第3回	3,326
平成21年度	20,123	60件(1,839名)	第9回 第10回	4,771 3,728	第4回	6,825

※平成19年度の年間来館者数は、待兼山修学館開館(8月)以降の人数。

※平成19年度の特別展は大阪歴史博物館で開催。来館者数は、常設展示場入場者総数。



## ▼大阪大学中之島講座



中之島講座は、現代の科学・技術の急速な発展、政治・経済の激しい変化や生活様式の変容の中で大学の研究成果を広く一般市民・学生の皆様に開放し、生活・職業上の必要な知識の普及と一般教養の向上に資するために企画したもので、平成22年度で42回目を迎えます。

年度	講義日数	受講者数	主題名
平成19年度	15	495	・現代の諸問題を考える研究・教育のフロンティア ・健康を考える研究・教育のフロンティア ・エネルギーと情報通信を考える研究・教育のフロンティア
平成20年度	15	472	・ひとと社会を考える ・司法への参加を考える ・医療の仕組みを考える
平成21年度	12	739	・人と社会 ～コミュニケーション力とデザイン力 ・コンピュータ社会における人とロボット

## ▼大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座

大阪大学が大阪市計画調整局と協同で提供する公開講座です。それぞれの専門分野からともに「学び合う」を意識したテーマ設定と講座スタイルが特徴です。講師は本学の若手教員を中心に構成しています。まちづくりを始め、幅広い分野の講座を展開しています。

年度	講義日数	受講者数	講義題目
平成20年度	7	64	・「適塾」一解説と見学会ー ・ナノサイズの炭素材料が秘めたサイエンス ・サステイナビリティへ向けた都市デザイン:国際的動向とベルーの事例 ・漢方治療のABC ー女性特有の病気を中心にー ・どうなる!?地方財政の行方 ・懐徳堂の歴史 ー逸話や未公開資料を用いてー ・いのち・ひと・夢ー大阪の歴史から未来へ
平成21年度	12	289	・交通からはじめるまちづくり ・こどものための/こどもとともにする哲学 ・江戸時代の人体解剖図譜 ー「解体新書」以前の解剖学ー ・大阪弁と大阪人のイメージの変遷 ・足元から考えてみる ー「臨床哲学」というアプローチ ・広場としての深夜ラジヲ ー口承文芸研究からの現代文化論ー ・交通からはじめるまちづくり II ・がんへの心構え ・体感・音声学 ・幕末の懐徳堂 ・「哲学カフェ」への招待 ・人生の節目と儀礼 ー生活分析の視点としてー

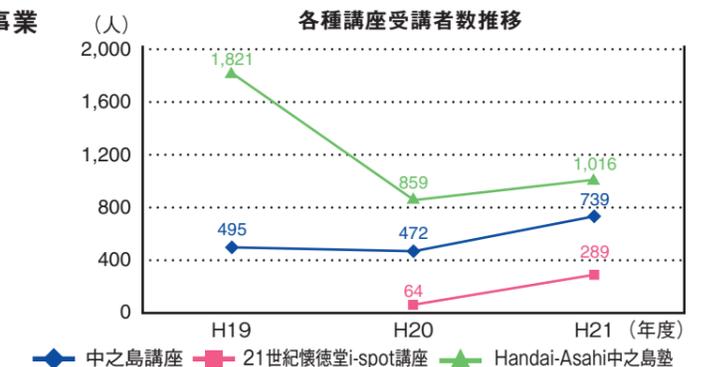
## ▼Handai-Asahi中之島塾

年度	講座数	開催回数	受講者数
平成19年度	19	36	1,821
平成20年度	20	24	859
平成21年度	17	23	1,016

「Handai-Asahi中之島塾」は、平成16年に大阪大学中之島センターが中之島の地に誕生したのを機に設けられた、朝日カルチャーセンターと大阪大学との共同講座です。朝日カルチャーセンターによる運営で、大阪大学が取り組んでいる研究の成果をわかりやすく紹介しています。文化、歴史、芸術、理工系、医療関係など大阪大学が有している様々な分野から講師を招き、時には旬の話題のテーマなども取り上げています。

## ▼大阪大学21世紀懐徳堂共催・協力事業・後援事業

年度	共催事業			協力事業			後援事業		
	学内	学外	合計	学内	学外	合計	学内	学外	合計
平成20年度	6	3	9	7	2	9	4	1	5
平成21年度	3	0	3	19	2	21	1	0	1



# 寄附講座・寄附研究部門設置状況

## ▼寄附講座・寄附研究部門設置状況

(平成22年3月末現在)

部局名	講座・研究部門の名称	設置期間	寄附者	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
医学系研究科	糖鎖治療学(タカラバイオ)寄附講座	H14. 9.1 - H19. 8.31	タカラバイオ株式会社	→			
	癌ワクチン療法学寄附講座	H17.12.1 - H23.11.30	株式会社エフ・アール・シー・ジャパン 株式会社ゼクス(H20.12~株式会社 エフ・アール・シー・ジャパン・株式会社ボ ネール)			→	
	臨床遺伝子治療学(第一製薬)寄附講座	H14.12.1 - H19.11.30	第一製薬株式会社	→			
	臨床遺伝子治療学(第一三共)寄附講座	H19.12.1 - H24.11.30	第一三共株式会社		→	→	
	樹状細胞制御療法学寄附講座	H15. 6.1 - H23. 5.31	シュERING・ブラウ株式会社		→	→	
	視覚情報制御学(トプコン)寄附講座	H16. 5.1 - H24. 3.31	株式会社トプコン		→	→	
	先端移植基盤医療学寄附講座	H17. 1.1 - H26.12.31	ノバルティスファーマ株式会社 (H22.1~ノバルティスファーマ株式 会社・アステラス製薬株式会社)		→	→	
	生体機能補完医学寄附講座	H17. 1.1 - H26.12.31	アミンアップ化学		→	→	
	漢方医学(ツムラ)寄附講座	H17. 4.1 - H23. 3.31	株式会社ツムラ		→	→	
	皮膚・毛髪再生医学(アデランス) 寄附講座	H18. 4.1 - H23. 3.31	株式会社アデランス		→	→	
	運動器バイオマテリアル学 (ジョンソン・エンド・ジョンソン)寄附講座	H18.10.1 - H24. 9.30	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー		→	→	
	緩和医療学寄附講座	H18.10.1 - H23. 9.30	ヤンセン ファーマー株式会社		→	→	
	美容医療学寄附講座	H19. 4.1 - H25. 3.31	常磐薬品工業株式会社		→	→	
	疼痛医学寄附講座	H19. 4.1 - H24. 3.31	小財家興産有限公司		→	→	
	先進心血管治療学寄附講座	H19. 4.1 - H25. 3.31	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社		→	→	
	癌幹細胞制御学寄附講座	H19. 4.1 - H25. 3.31	アーク不動産株式会社		→	→	
	医療経済・経営学(アストラゼネカ) 寄附講座	H19. 4.1 - H22. 3.31	アストラゼネカ株式会社		→	→	
	運動器工医学治療学寄附講座	H20.10.1 - H25. 9.30	CeramTecAG		→	→	
	分子精神神経学(大日本住友製薬) 寄附講座	H20.10.1 - H23. 9.30	大日本住友製薬株式会社		→	→	
	医薬分子イメージング学寄附講座	H21.10.1 - H26. 9.30	塩野義製薬株式会社			→	
	医療経済産業政策学寄附講座	H22. 3.1 - H25. 2.28	富士フイルム株式会社 NTN株式会社 アポットジャパン株式会社 シーメンス旭メデテック株式会社 ベックマン・コールター株式会社 旭化成クラレメディカル株式会社 ニプロ株式会社 東レ・メディカル株式会社			→	
	薬学研究科	薬用資源解析学(三栄源エフ・エフ・アイ) 寄附講座	H14.10.1 - H21. 3.31	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	→	→	
	工学研究科	生命環境工学(住友電気工業)寄附講座	H20. 7.1 - H23. 3.31	住友電気工業株式会社		→	→
生命機能研究科	免疫制御学(中外製薬)寄附講座	H15. 9.1 - H23. 8.31	中外製薬株式会社	→	→	→	
微生物病研究所	分子生物学(ライフテクノロジーズ) 寄附研究部門	H18.12.1 - H23. 3.31	ライフテクノロジーズジャパン株式会社	→	→	→	
	疾患糖鎖学(生化学工業)寄附研究部門	H18. 4.1 - H21. 3.31	生化学工業株式会社	→	→	→	
産業科学研究所	疾患糖鎖学(生化学工業)寄附研究部門	H21. 4.1 - H23. 3.31	生化学工業株式会社		→	→	
蛋白質研究所	生体分子認識(タカラバイオ) 寄附研究部門	H17.10.1 - H20. 9.30	タカラバイオ株式会社	→	→		
	疾患プロテオミクス(Shimadzu) 寄附研究部門	H18. 4.1 - H23. 3.31	株式会社島津製作所	→	→	→	
接合科学研究所	多元ハイブリッドプロセス技術 (栗本鐵工所)寄附研究部門	H19. 4.1 - H22. 3.31	栗本鐵工所	→	→	→	
金融・保険教育 研究センター	デリバティブ取引とリスク・マネジメント 寄附研究部門	H19. 6.1 - H24. 5.31	株式会社大阪証券取引所	→	→	→	
核物理研究センター	宇宙核物理学寄附研究部門	H19.10.1 - H24. 9.30	鈴木昭弘	→	→	→	

# 共同研究講座・共同研究部門設置状況

## ▼共同研究講座・共同研究部門設置状況

(平成22年3月末現在)

部局名	講義・研究部門の名称	設置期間	企業名	平成19年度	平成20年度	平成21年度
医学系研究科 保健学専攻	癌免疫学(大塚製薬)共同研究講座	H21. 7.1 - H26. 6.30	大塚製薬株式会社			→
	疾患分子情報解析学(和光純薬工業) 共同研究講座	H20. 4.1 - H25. 3.31	和光純薬工業株式会社		→	→
工学研究科	ダイキン(フッ素化学)共同研究講座	H18. 6.1 - H24. 3.31	ダイキン工業株式会社	→	→	→
	コマツ(建機等イノベーション)共同研究講座 (大阪大学コマツ共同研究講座(建機等イノベーション講座))	H18. 7.1 - H24. 3.31	株式会社小松製作所	→	→	→
	新日鐵化学・マイクロ波化学共同研究講座 (マイクロ波化学共同研究講座)	H18. 7.1 - H24. 3.31	新日鐵化学株式会社、岩谷産業株式会社、 マイクロ波環境化学株式会社	→	→	→
	石油資源開発(パイプライン工学) 共同研究講座	H19. 4.1 - H22. 3.31	石油資源開発株式会社	→	→	→
	電子デバイス生産技術共同研究講座	H19. 4.1 - H23. 3.31	シャープ株式会社	→	→	→
	日新スチール(鉄鋼表面フロンティア)共同研究講座 (大阪大学 日新製鋼(鉄鋼表面フロンティア)共同研究講座)	H19. 6.1 - H25. 3.31	日新製鋼株式会社	→	→	→
	住友金属(鉄鋼元素循環工学)共同研究講座 (大阪大学・住友金属(鉄鋼元素循環工学)共同研究講座)	H19. 5.1 - H27. 3.31	住友金属工業株式会社	→	→	→
	三井造船(プラズマ応用工学) 共同研究講座	H19. 7.1 - H24. 3.31	三井造船株式会社	→	→	→
	新日鐵(製鉄プロセス)共同研究講座	H19.10.1 - H22. 9.30	新日本製鐵株式会社	→	→	→
	三菱電機・生産コンバージング・テクノロジー 共同研究講座	H20. 4.1 - H23. 3.31	三菱電機株式会社	→	→	→
	セキュアデザイン(シヤチハタ)共同研究講座 (セキュアデザイン(ナノダ)共同研究講座)	H20. 5.1 - H24. 3.31	シヤチハタ株式会社、 株式会社nanoda		→	→
	パナソニック(ディスプレイ材料) 共同研究講座	H20. 6.1 - H23. 3.31	パナソニック株式会社		→	→
	溶接保全共同研究講座	H20.10.1 - H23. 9.30	関西電力株式会社		→	→
	三井造船・船舶ハイブリッド推進システム 共同研究講座	H21.10.1 - H25. 3.31	三井造船株式会社			→
	Hitzバイオマス開発共同研究講座	H22. 1.1 - H24. 3.31	日立造船株式会社			→
接合科学研究所	東洋炭素(先進カーボンデザイン) 共同研究部門	H20.10.1 - H23. 9.30	東洋炭素株式会社		→	→
超高压電子顕微鏡 センター	電子光学基礎研究共同研究部門	H20. 1.1 - H21.12.31	株式会社日立ハイテクノロジーズ、 株式会社日立製作所	→	→	→
先端科学 イノベーション センター	クリングルファーマ再生創薬共同研究部門	H19. 7.1 - H25. 3.31	クリングルファーマ株式会社	→	→	→
	カネカ・エネルギーソリューション 共同研究部門	H20. 4.1 - H23. 3.31	株式会社カネカ	→	→	→
サイバーメディア センター	ピアス(皮膚再生技術)共同研究部門	H21. 4.1 - H24. 3.31	ピアス株式会社			→
	ドコモ(コミュニケーション構造解析) 共同研究部門	H21.10.1 - H24. 3.31	株式会社NTTドコモ			→

※共同研究講座・共同研究部門・・・企業等からの研究経費等を活用して設置運用される講座・研究部門

# 科学研究費補助金等

## ▼科学研究費補助金

平成19年度 (単位:千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	5	429,240
学術創成研究費	11	1,074,854
特定領域研究	305	2,781,239
基盤研究(S)	36	809,099
基盤研究(A)	93	1,314,342
基盤研究(B)	311	1,998,537
基盤研究(C)	418	750,332
萌芽研究	204	299,873
若手研究(S)	5	100,490
若手研究(A)	54	395,284
若手研究(B)	382	514,985
特別研究員奨励費	316	288,580
若手研究(スタートアップ)	60	71,264
特別研究促進費(年複数回応募)	3	2,600
計	2,203	10,830,719

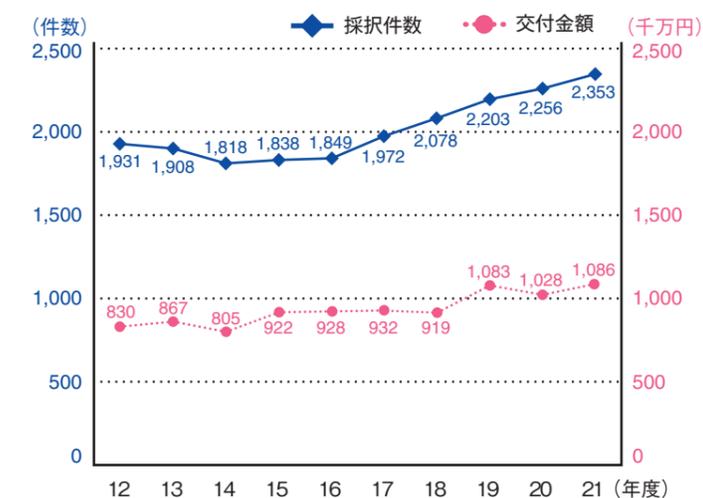
平成20年度 (単位:千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	6	604,240
学術創成研究費	5	545,480
特定領域研究	259	2,164,157
新学術領域研究(領域提案型)	18	386,750
新学術領域研究(課題提案型)	4	44,330
基盤研究(S)	36	842,270
基盤研究(A)	97	1,267,240
基盤研究(B)	335	1,957,516
基盤研究(C)	479	765,614
萌芽研究	158	215,775
若手研究(S)	10	193,310
若手研究(A)	36	235,696
若手研究(B)	393	674,934
特別研究員奨励費	348	269,692
若手研究(スタートアップ)	66	105,209
特別研究促進費	6	9,400
計	2,256	10,281,613

平成21年度 (単位:千円)

研究種目	採択件数	交付金額
特別推進研究	5	908,050
学術創成研究費	4	450,450
特定領域研究	188	1,557,466
新学術領域研究(領域提案型)	61	681,295
新学術領域研究(課題提案型)	10	105,430
基盤研究(S)	33	886,990
基盤研究(A)	108	1,426,234
基盤研究(B)	332	1,894,520
基盤研究(C)	486	718,336
挑戦的萌芽研究	155	219,906
若手研究(S)	13	338,390
若手研究(A)	50	444,730
若手研究(B)	469	849,725
若手研究(スタートアップ)	83	114,854
特別研究員奨励費	356	258,890
計	2,353	10,855,266

## ▼過去10年間における科学研究費補助金の採択の推移



## ▼外部資金

平成19年度 (単位:千円)

区分	件数	金額
共同研究	764	2,596,773
受託研究等	4,853	14,056,968
内訳		
受託研究	614	12,309,805
医薬品等の臨床研究	278	365,722
受託試験等	112	1,368,800
病理組織検査等	3,849	12,641
奨学寄附金等	3,258	6,116,311
内訳		
奨学寄附金	3,023	5,407,503
その他の寄附(備品等)	235	708,808
計	8,875	22,770,052

平成20年度 (単位:千円)

区分	件数	金額
共同研究	768	2,839,122
受託研究等	950	12,182,707
内訳		
受託研究	589	11,749,937
医薬品等の臨床研究	329	428,136
受託試験等	30	303
病理組織検査等	2	4,331
奨学寄附金等	3,217	5,478,525
内訳		
奨学寄附金	3,073	4,637,038
その他の寄附(備品等)	144	841,487
計	4,935	20,500,354

平成21年度 (単位:千円)

区分	件数	金額
共同研究	826	2,920,116
受託研究等	1,125	10,567,648
内訳		
受託研究	614	10,133,295
医薬品等の臨床研究	410	428,443
受託試験等	98	1,057
病理組織検査等	3	4,853
奨学寄附金等	4,050	5,317,198
内訳		
奨学寄附金	3,983	4,666,710
その他の寄附(備品等)	67	650,488
計	6,001	18,804,962

## ▼過去10年間における外部資金受入れの推移



## ▼部局別特許件数

(平成20年3月末現在)

部局名	国内	国外	計
理学研究科・理学部	10 (1)	1 (1)	11 (2)
医学系研究科・医学部	2	3	5
工学研究科・工学部	64	15	79
基礎工学研究科・基礎工学部	23	10	33
情報科学研究科	1	0	1
産業科学研究所	9	7 (4)	16 (4)
接合科学研究所	1 (1)	0	1 (1)
超高压電子顕微鏡センター	2	2	4
先端科学イノベーションセンター	2	1	3
核物理研究センター	1	0	1
レーザーエネルギー学研究センター	5 (2)	1	6 (2)
計	120 (4)	40 (5)	160 (9)

(平成21年3月末現在)

部局名	国内	国外	計
理学研究科・理学部	12 (1)	1 (1)	13 (2)
医学系研究科・医学部	3	3	6
歯学研究科・歯学部	0	1	1
薬学研究科・薬学部	2 (2)	0	2 (2)
工学研究科・工学部	72 (3)	23 (4)	95 (7)
基礎工学研究科・基礎工学部	21 (1)	10	31 (1)
情報科学研究科	1	0	1
微生物研究所	0	2 (2)	2 (2)
産業科学研究所	9	5 (1)	14 (1)
接合科学研究所	0	6 (6)	6 (6)
超高压電子顕微鏡センター	2	1	3
太陽エネルギー化学研究センター	2 (2)	0	2 (2)
先端科学イノベーションセンター	3	3 (2)	6 (2)
核物理研究センター	1	0	1
レーザーエネルギー学研究センター	1 (1)	1	2 (1)
計	129 (10)	56 (16)	185 (26)

(平成22年3月末現在)

部局名	国内	国外	計
理学研究科・理学部	13 (1)	2 (1)	15 (2)
医学系研究科・医学部	3	4 (1)	7 (1)
医学部附属病院	1	0	1
歯学研究科・歯学部	1 (1)	1	2 (1)
薬学研究科・薬学部	2 (2)	0	2 (2)
工学研究科・工学部	76 (8)	29 (9)	105 (17)
基礎工学研究科・基礎工学部	20 (2)	12 (1)	32 (3)
情報科学研究科	1 (1)	0	1 (1)
微生物研究所	0	2 (2)	2 (2)
産業科学研究所	8 (1)	7 (3)	15 (4)
接合科学研究所	0	6 (6)	6 (6)
超高压電子顕微鏡センター	2	1	3
太陽エネルギー化学研究センター	4 (4)	0	4 (4)
先端科学イノベーションセンター	3	3 (2)	6 (2)
核物理研究センター	1	0	1
レーザーエネルギー学研究センター	3 (2)	3 (1)	6 (3)
計	138 (22)	70 (26)	208 (48)

( )内は共有特許数で内数

受け入れた外部資金は、景気の影響のためか若干の増減はありますが、全体的には増加傾向にあり、10年前の約2倍となっています。そのうちの約半分は科学研究費補助金が占めており、採択件数、交付金額は共に着実に増加しています。また、特許件数は全体的に増加傾向にあり、特に国外特許数は5年前と比べて約2倍に増加しています。

# 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPIプログラム)等

## ▼世界トップレベル研究拠点プログラム(WPIプログラム)

高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点の形成を目指す構想に対して集中的な支援を行い、システム改革の導入等の自主的な取組を促すことにより、研究水準の一層の向上を図るとともに、世界第一線の研究者が是非そこで研究したいとして集まってくるような、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える拠点」の形成を目的としています。

拠点名称	拠点リーダー	拠点構想の概要	平成19年度	平成20年度	平成21年度
免疫学フロンティア研究センター	審良 静男 免疫学フロンティア研究センター 教授	世界トップクラスの研究者を中核とし、免疫学とイメージング技術・バイオインフォマティクスの最先端レベルの研究を融合的に進めることによって、生体内における免疫細胞の活性化、相互作用(免疫系のダイナミクス)を理解し、新しい戦略に基づいた感染症ワクチンの開発や、様々な感染症や癌に対する免疫療法のコンセプト創出、自己免疫疾患の治療法の開発を目指す。			

## ▼最先端研究開発支援プログラム

研究者最優先の研究開発支援体制の下で、世界のトップを目指した先端的な研究開発を推進することにより、我が国の中長期的な国際競争力及び底力の強化を図るとともに、研究成果を国民及び社会に還元することを目的としています。

プログラム名称	中心研究者	分野名	平成19年度	平成20年度	平成21年度
免疫ダイナミクスの統合的理解と免疫制御法の確立	審良 静男 免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授	ライフサイエンス			
1分子解析技術を基盤とした革新ナノバイオデバイスの開発研究 —超高速単分子DNAシーケンシング、超低濃度ウイルス検知、極限生体分子モニタリングの実現—	川合 知二 産業科学研究所 特任教授	ナノテクノロジー・材料			

## ▼国際化拠点整備事業(グローバル30)

国際化拠点整備事業(グローバル30)は、我が国の高等教育の国際競争力の強化及び留学生等に魅力的な水準の教育等を提供するとともに、留学生と切磋琢磨する環境の中で、国際的に活躍できる高度な人材の養成を図ることを目的としています。

構想責任者	事業の概要	平成19年度	平成20年度	平成21年度
辻 毅一郎 理事・副学長	・インターナショナルカレッジ機構の設置。 4つの新設英語コース(①人間科学コース[学部]、②化学・生物学複合メジャーコース[学部]、③国際物理特別コース[大学院]、④統合理学特別コース[大学院])の設置。 ・国際教育交流センター(サポートオフィス併設)を開設。 ・短期留学受入プログラムの開発、提供。 これらの事業を通じ、留学生数の増加と受け入れ支援体制の強化を図る。			

## ▼大学院教育改革支援プログラム

社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化を推進することを目的としています。

プログラム名	部局名(事業推進者)	申請(○主幹校)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
人間科学データによる包括的専門教育	人間科学研究科 川端 亮 教授	単独申請			
インテグレート大学院理学教育	理学研究科 金澤 浩 教授	単独申請			
複合システムデザインのためのX型人材育成	工学研究科 田中 敏嗣 教授	単独申請			
継続的交換留学制度の構築に基づく人材育成	基礎工学研究科 直田 健 教授	単独申請			
医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科 磯 博康 教授	単独申請			
創業推進教育プログラム	薬学研究科 山元 弘 教授	単独申請			
イノベーションリーダー養成プログラム	経済学研究科 金井 一頼 教授	共同申請 ○大阪大学、近畿大学			
数物から社会に発信・発達する人材の育成	理学研究科 大鹿 健一 教授	単独申請			
先端科学から未来医療を創る人財の育成	歯学研究科 恵比寿 繁之 教授	単独申請			
国際連携大学院FDネットワークプログラム	工学研究科 金谷 茂則 教授	単独申請			

## ▼現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、財政支援を行うことで、高等教育の更なる活性化が促進されることを目的とするものです。

プログラム名	部局名(事業推進者)	申請(○主幹校)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
デンタルスキル養成実感シミュレータ学習	歯学部 上崎 善規 教授	単独申請			
プロジェクト型大学間交流連携ゼミの構築	法学部	共同申請 ○名古屋大学、大阪大学			

## ▼組織的な大学院教育改革推進プログラム

社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化及びこれを通じた国際的教育環境の醸成を図ることを目的としています。

プログラム名	部局名(事業推進者)	申請	平成19年度	平成20年度	平成21年度
システム創成プロフェッショナルプログラム	基礎工学研究科 占部 伸二 教授	単独申請			
健康環境リスクマネージメント専門家育成	薬学研究科 高木 達也 教授	単独申請			

## ▼新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。

プログラム名	部局名(事業推進者)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市民社会におけるリーダーシップ養成支援	全学部対象(医学系研究科 大和谷 厚 教授)			

## ▼質の高い大学教育推進プログラム

教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、高等教育の質保証、国際競争力の強化に質することを目的としている。

プログラム名	部局名(事業推進者)	申請	平成19年度	平成20年度	平成21年度
知的能動性を高める物理学教育プログラム	理学部 篠原 厚 教授	単独申請			
食と環境の安全安心を担う薬学人材養成教育	薬学部 小林 資正 教授	単独申請			

## ▼専門職大学院等教育推進プログラム

専門職大学院と学校教員の養成を行う大学等における、理論と実務を架橋した実践的な教育方法等の開発・充実を行う優れた取組について、競争的な環境の中で重点的に支援することによって高等教育機関における高度専門職業人養成等の一層の充実を図ることを目的としています。

プログラム名	部局名(事業推進者)	申請	平成19年度	平成20年度	平成21年度
紛争の予防能力と修復能力を備えた法曹養成	高等司法研究科 松川 正毅 教授	単独申請			

## ▼がんプロフェッショナル養成プラン

質の高いがん専門医等を養成し得る内容を有する優れたプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学の教育の活性化を促進し、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図ることを目的としています。

教育プログラム名	大学名(○主幹校)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
チーム医療を推進するがん専門医療者の育成	○大阪大学(医学系研究科)、兵庫県立大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学			

## ▼先導的ITスペシャリスト人材育成推進プログラム

ソフトウェア開発に先見性をもって柔軟に対処し、企業等で先導的役割を担い得る実力を備えた「先導的ITスペシャリスト」の育成を行う拠点形成を支援・推進するためのプログラムです。

プログラム名称	大学名(○主幹校)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成	○奈良先端科学技術大学院大学、京都大学、大阪大学(情報科学研究科)、北陸先端科学技術大学院大学			

グローバルCOEプログラムは、平成14年度から文部科学省において開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、国際的に卓越した研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的とする事業です。平成21年度までに**全国で140拠点**が選定されました。

採択年度	プログラム名称	拠点リーダー	拠点形成専攻等名 (※下線:プログラムの中核となる専攻等名、[ ]:連携先機関名)	学問分野
19	高次生命機能システムのダイナミクス	柳田 敏雄 生命機能研究科 特任教授	生命機能研究科(生命機能専攻)	生命科学
19	生命環境化学グローバル教育研究拠点	福住 俊一 工学研究科 教授	工学研究科(生命先端工学専攻、応用化学専攻) 理学研究科(化学専攻、高分子科学専攻)、基礎工学研究科(物質創成専攻)、太陽エネルギー化学研究センター	化学・材料科学
19	構造・機能先進材料デザイン教育研究拠点	掛下 知行 工学研究科 教授	工学研究科(マテリアル生産科学専攻、知能・機能創成工学専攻、附属原子分子イオン制御理工学センター) 接合科学研究所(附属スマートプロセス研究センター、加工システム研究部門、機能評価研究部門)、産業科学研究所(第二研究部門材料・ビーム科学系)、超高圧電子顕微鏡センター	
19	アンビエント情報社会基盤創成拠点	村田 正幸 情報科学研究科 教授	情報科学研究科(情報数学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻) 工学研究科(電気電子情報工学専攻)	情報・電気・電子
19	次世代電子デバイス教育研究開発拠点	谷口 研二 工学研究科 教授	工学研究科(電気電子情報工学専攻、附属原子分子イオン制御理工学センター、附属フロンティア研究センター)、基礎工学研究科(システム創成専攻)、レーザーエネルギー学研究センター(レーザーテラヘルツ研究部門)、先端科学イノベーションセンター(電子材料・システム系分野)[福井大学(工学研究科)]	人文科学
19	コンフリクトの人文国際研究教育拠点	小泉 潤二 理事・副学長 人間科学研究科 教授	人間科学研究科(人間科学専攻、グローバル人間学専攻)、文学研究科(文化表現論専攻、文化形態論専攻)、コミュニケーションデザインセンター(臨床&フィールド・コミュニケーションデザイン部門、科学技術部門)、グローバルコラボレーションセンター(研究推進部門、実践支援部門)	
19	医・工・情報学融合による予測医学基盤創成	野村 泰伸 臨床工学融合研究教育センター(兼)基礎工学研究科 教授	臨床工学融合研究教育センター、基礎工学研究科(機能創成専攻)、医学系研究科(病態制御医学専攻、内科系臨床医学専攻)、薬学研究科(応用医療科学専攻、生命情報環境科学専攻)、工学研究科(機械工学専攻、電気電子情報工学専攻)、歯学研究科(統合機能口腔科学専攻、分子病態口腔科学専攻)、情報科学研究科(コンピュータサイエンス専攻、バイオ情報工学専攻)	学際・複合・新領域
20	オルガネラネットワーク医学創成プログラム	米田 悦啓 生命機能研究科 教授	医学系研究科(予防環境医学専攻、生体生理医学専攻、内科系臨床医学専攻、保健学専攻)、微生物病研究所(生体防御研究部門、環境応答研究部門、感染機構研究部門)、免疫学フロンティア研究センター、生命機能研究科(生命機能専攻)、理学研究科(化学専攻)、先端科学イノベーションセンター[理化学研究所]	医学系
20	物質の量子機能解明と未来型機能材料創出	北岡 良雄 基礎工学研究科 教授	基礎工学研究科(物質創成専攻、システム創成専攻)、理学研究科(物理学専攻、宇宙地球科学専攻)、極限量子科学研究センター(量子基礎科学大部門)[(独)情報通信研究機構]	数学・物理学・地球科学
20	高機能化原子制御製造プロセス教育研究拠点	山内 和人 工学研究科 教授	工学研究科(精密科学・応用物理学専攻、附属超精密研究センター、生命先端工学専攻)	機械・土木・建築・その他工学
20	人間行動と社会経済のダイナミクス	大竹 文雄 社会経済研究所 教授	経済学研究科(経済学専攻、政策専攻、経営学専攻)、社会経済研究所(附属行動経済学研究センター、政策研究部門、実証経済学部門、理論経済学部門)、国際公共政策研究科(比較公共政策専攻)、人間科学研究科(人間科学専攻)、生命機能研究科(脳神経工学講座)[京都大学(経済研究所)]	社会科学
21	認知脳理解に基づく未来工学創成	石黒 浩 基礎工学研究科 教授	基礎工学研究科(システム創成専攻、機能創成専攻)、工学研究科(知能・機能創成工学専攻)、情報科学研究科(マルチメディア工学専攻)、人間科学研究科(人間科学専攻)、医学系研究科(病態制御医学専攻、内科系臨床医学専攻・外科系臨床医学専攻)、生命機能研究科(生命機能専攻)[(株)国際電気通信基礎技術研究所、(独)情報通信研究機構]	学際・複合・新領域

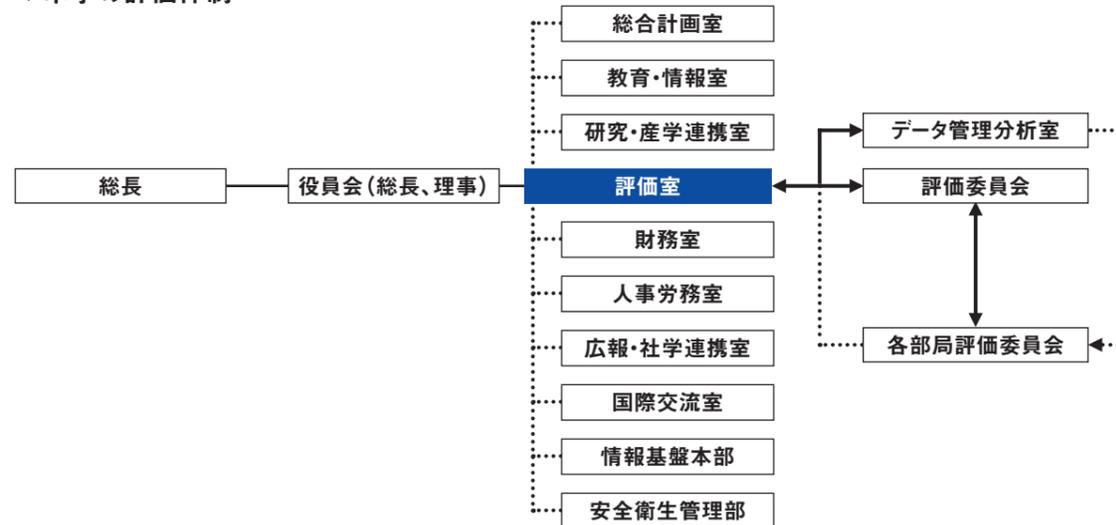
※事業期間は5年間を原則とする。

### ▼採択件数上位10位

順位	大学名	採択件数
1	東京大学	17
2	京都大学	13
3	大阪大学	12
3	東北大学	12
5	東京工業大学	9
6	早稲田大学	8
7	慶應義塾大学	7
7	北海道大学	7
7	名古屋大学	7
10	九州大学	5

グローバルCOEプログラムに関しては、平成19年度に7件、平成20年度に4件、平成21年度に1件、計12件が採択されました。これら12の拠点は、大阪大学が取り組んでいるほぼ全ての教育・研究領域を網羅しており、国際的に卓越した教育研究拠点づくりが推進されています。

### ▼本学の評価体制



### ▼国立大学法人評価

#### 国立大学法人評価制度について

国立大学法人制度は、大学等の教育研究に対する国民の要請に応えるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とするものである。

また、国立大学法人及び大学共同利用機関法人(以下「法人」という。)は、中期目標・中期計画に基づき、大学等の基本的本質を踏まえて自主的に運営を行うものである。

国立大学法人評価は、このような大学等の教育研究の特性に配慮して、毎事業年度及び中期目標期間における業務実績について、事後的に評価を行うものである。

具体的には、国立大学法人評価委員会(以下「評価委員会」という。)が、各法人の自己点検・評価に基づき、教育研究の状況や業務運営・財務内容の状況等について、各法人の中期目標の達成状況等の調査・分析を行い、法人の業務実績全体について総合的に行うこととなる。

したがって、国立大学法人評価は、教育研究の特性や法人運営の自主性・自律性に配慮しつつ、法人の継続的な質的向上に資するとともに、法人の状況を分かりやすく示し、社会への説明責任を果たしていくものでなければならない。その際、評価を通じて、教育研究の高度化、個性豊かな大学づくり、法人運営の活性化等を目指した法人の取組を積極的に支援することにより、評価が、長期的な視点から法人の発展に資するものとなることが重要である。

中期目標期間の業務の実績に係る評価においては、各法人が自主的に行う組織・業務全般の見直しや次期の中期目標・中期計画の検討に資するものとなるよう留意する。また、評価結果を次期の中期目標期間における運営費交付金の算定に反映させることができるものとなるよう留意する。

(平成19年4月6日付け「国立大学法人及び大学共同利用機関法人の第1期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」(平成22年3月25日一部改正))

#### 本学の業務実績報告書に対する評定(国立大学法人評価委員会による)

事項	平成19年度	暫定評価	平成20年度	平成21年度	確定評価
<b>I 項目別評価</b>					
(1)業務運営の改善及び効率化	4	4	4	4	4
(2)財務内容の改善	4	4	4	4	4
(3)自己点検・評価及び情報提供	4	4	4	4	4
(4)その他業務運営に関する重要事項	2	3	4	2	3

※評定の数字の内容は次のとおり。なお、評定の数字は、本学で適宜付したものである。

評定	年度評価	暫定評価・確定評価	備考
5	特筆すべき進捗状況にある	中期目標の達成状況が非常に優れている	評価委員会が特に認める場合
4	順調に進んでいる	中期目標の達成状況が良好である	すべてⅣまたはⅢ
3	おおむね順調に進んでいる	中期目標の達成状況がおおむね良好である	ⅣまたはⅢの割合が9割以上
2	やや遅れている	中期目標の達成状況が不十分である	ⅣまたはⅢの割合が9割未満
1	重大な改善事項がある	中期目標の達成のためには重大な改善事項がある	評価委員会が特に認める場合

# 大学評価

## ▼国立大学法人評価委員会による業務の実績に関する評価結果(全体評価)

(平成19年度)

大阪大学は、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、「地域に生き世界に伸びる」という理念の実現に向けての取組を積み重ね、成果を上げている。特に、平成19年10月の大阪外国語大学との統合は、新生・大阪大学として、これまでの両大学の教育研究リソースを最大限に活用し、大阪の知の基盤となるものであり、「地域に生き世界に伸びる」という理念を具体化している。

一方、研究費の不正使用防止のための体制・ルールに関して、研究機関における委員会の設置、通報者の保護等について整備されていないことから、早急な対応が求められる。

この他、業務運営について、有望な若手教育研究者の確保及び育成を図るため、当該部局等で採用した若手教員について、雇用継続可能地位への移行制度(テニユア・トラック制)を実施する場合における指針を策定している。

財務内容については、「財務体質手段としての大学基金の創設」をまとめ、100億円規模の「基金」の創設及び基金の原資である寄附金獲得のための責任ある受入体制を、総長主導の下で大学全体が構築する具体化に向けた作業について、提言を行っており、今後の取組が目される。

自己点検・評価、情報提供については、平成16～18年度における入学者数、卒業・修了者数、研究費等、留学生数、決算概況等について、3年間の経年変化がわかるデータ、科学研究費補助金採択数や論文引用数等の基礎的な活動状況と研究成果の国内、国外における相対的な位置を明確にした「大阪大学業績集2004-2006」を作成し、ウェブサイトで公表している。

施設設備の整備・活用等については、施設マネジメントを総合的に実施するため、施設部課改組を行い、企画機能の強化(デザイン力の向上)、マネジメントにかかるPDCAサイクルの確立、併せて人材育成等、事務機構改革に関する基本構想に即した事務組織体制への見直しを図っている。

教育研究の質の向上については、大阪外国語大学との統合に伴い、新たに外国語学部、言語文化研究科言語社会専攻、文学研究科文化動態論専攻、人間科学研究科グローバル人間学専攻、法学部国際公共政策学科学等を設置するとともに、世界言語研究センター、日本語日本文化教育センターを設置し、統合による新たな教育体制を構築している。

(暫定評価)

大阪大学は、総長のリーダーシップの下、第一期中期目標期間の最も大きな計画である大阪外国語大学との統合を実現している。統合は両大学の教育研究リソースを最大限活用し、大阪の知の基盤となるものであり、「地域に生き世界に伸びる」という理念を具現化したものである。

中期目標期間の業務実績の状況は、すべての項目で中期目標の達成状況が良好又はおおむね良好である。業務実績のうち、主な特記事項は以下のとおりである。教育については、高度職業人講座及び社会連携講座等の実施や各種教育改革プログラムを実施し、それぞれコースワークの体系化やプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)方式による実践的科目の導入を進めるとともに、大阪外国語大学との統合に対応したキャンパスネットワークODINS5期整備、全学無線LANシステムの設置等の取組を行っている。

研究については、部局横断型のナノサイエンス・ナノテクノロジー教育研究訓練プログラムの立ち上げ、科学教育機器リノベーションセンター、ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究推進機構、生命科学・生命工学研究推進機構の設置等の取組を行っている。

社会連携・国際交流等については、スーパー産学官連携機構を設置し、窓口及び知的財産取扱を一元化等することで、共同研究や受託研究の獲得へつなげる取組を行っている。

業務運営については、教員の雇用について、部局が管理する枠を人件費の90%とし、残り10%を全学的に管理できる枠(大学留保ポスト)とし、その配分については人件費の節減、戦略的運用、全学的視点、大学経営の視点等により検討を行い、総長のリーダーシップにより決定している。

財務内容については、「財務体質強化手段としての大学基金の創設」をまとめ、100億円規模の「基金」の創設及び基金の原資である寄附金獲得のための責任ある体制についての提言を行っており、今後の取組が期待される。

自己点検・評価、情報提供については、平成16年度から平成18年度における入学者数、卒業・修了者数、研究費、留学生数、決算概況等について、3年間の経年変化がわかるデータ、科学研究費補助金採択数や論文引用数等の基礎的な活動状況と研究成果の国内、国外における相対的な位置を明確にした「大阪大学業績集2004-2006」を作成し、ウェブサイトで公表している。

施設設備の整備・活用等については、大阪大学キャンパスマスタープランを策定し、共用施設、共用空間等のキャンパスコモンに関するデザインの方針を提示するとともに、緑地空間の管理・改善の方向を示したガイドラインとして、「緑のフレームワークプラン」を策定している。

一方、研究費の不正使用防止のための体制・ルールに関して、研究機関における委員会の設置、通報者の保護等について整備されていないことから、早急な対応が求められる。

(平成20年度)

大阪大学は、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、「地域に生き世界に伸びる」という理念の実現に向けての取組を積み重ね、業務運営、教育研究等のさらなる推進に取り組んでいる。

業務運営については、今後の中長期的な大学運営の方向性を示す「大阪大学グランドプラン」及びその取組を示す「大阪大学活動方針2008」を策定し、戦略的な運営に取り組んでいる。また、全学及び部局の産学官連携問題委員会の見直しを行い、運営のスリム化を図っている。

財務内容については、補助金等の事業執行に際して教員個人の負担を軽減し、研究の円滑な進展に寄与するため研究資金立替制度を有効活用している。また、複写機契約の随意契約から一般競争入札による総合複写業務支援サービス契約への見直し等により大幅な経費等の節減と業務の軽減が期待される。

自己点検・評価及び情報提供については、概算要求に係る学内ヒアリングにおいて、達成状況評価の結果と各部局の特記事項及び留意事項を参考資料として有効に活用している。

環境への取組については、付近住民に開かれたキャンパス整備を行っており、財団法人都市緑化基金から第19回「緑のデザイン賞」緑化大賞を授与されている。教育研究の質の向上については、大学院生を対象にした大学院高度副プログラムを開始している。また、産学連携推進本部による技術移転、共同研究等の推進等により新たな共同研究講座の設置や、次世代照明デバイス等の大型の共同研究が拡大するなど効果が現れている。

(平成21年度)

大阪大学は、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、「地域に生き世界に伸びる」という理念の実現に向けての取組を積み重ね、業務運営、教育研究等のさらなる推進に取り組んでいる。

業務運営については、大学経営等の視点から総長が戦略的に活用できる大学留保ポストを効果的に活用している。また、教員の定年退職年齢の引き上げに当たり、経営協議会からの意見を踏まえ、早期定年退職制度の整備を行っている。この他、業務改善提案制度による事務合理化の効果が上がっている。

財務内容については、企業への技術移転、共同研究の活性化等に積極的に取り組み、特許料収入等が増加している。

自己点検・評価及び情報提供については、ウェブサイトのコンテンツの見直しやターゲットの明確化等によるリニューアルに取り組み、アクセス数が増加している。その他業務運営については、外国人留学生や共同研究者等に対する基礎化学実験等の安全のための英語版DVDの配布、カフェを備えた学習支援スペースの活用等に取り組んでいる。

一方、医学系研究科において研究費の不正使用が行われていたことから、再発防止のための着実な取組が求められる。

教育研究等の質の向上については、教員の全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)研修の充実、学生が主体的に学ぶための「ラーニング・commons」の開設等に取り組んでいる。また、世界トップレベル研究拠点(WPI)での研究が進展し、世界的に著名な学術雑誌に論文が掲載されるなど成果が現れている。

(確定評価)

大阪大学は、創学以来の「研究第一主義」をモットーとし、第一線の研究成果と実証精神をもって教育を行うなど、教育・研究・社会貢献を通して国民と社会の信託に応えることにより、「地域に生き世界に伸びる」という理念の実現に向けての取組を積み重ね、業務運営、教育研究等のさらなる推進に取り組んでいる。

中期目標期間の業務実績の状況は、平成16～19年度までの評価では、すべての項目で中期目標の達成状況が「良好」又は「おおむね良好」であり、さらに平成20、21年度の状況を踏まえた結果、すべての項目で中期目標の達成状況が「良好」又は「おおむね良好」である。業務実績のうち、主な特記事項は以下のとおりである。

教育については、高度職業人講座及び社会連携講座等の実施や各種教育改革プログラムを実施し、それぞれコースワークの体系化やプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)方式による実践的科目の導入を進めている。また、大阪外国語大学との統合に対応したキャンパスネットワーク等の整備のほか、「ラーニング・commons」等の学習支援スペースの整備によって、利用者が増加し学生支援環境が幅広く進展している。

研究については、世界トップレベル研究拠点としての研究体制を充実し、トップジャーナルに多くの業績が発表されるなど研究拠点としての期待に応えている。この他、部局間連携研究・教育体制が強化され全学的見地からの活動が推進されている。

社会連携・国際交流等については、スーパー産学官連携機構を設置し、窓口及び知的財産取扱を一元化等することで、共同研究や受託研究の獲得へつなげる取組を行っている。また、第2期エラスムス・ムンドゥス(修士課程)への参加等、欧州大学・学術機関との交流基盤を構築している。

業務運営については、大阪外国語大学との統合を平成19年10月に実現し、大阪大学の3つの教育方針「教養」、「デザイン力」及び「国際性」の一翼として、25言語という多様な言語教育や多文化共生等のグローバルな教育研究の進展を可能にし、地球規模の諸課題に主体的に取り組むことのできる人材育成に取り組んでいる。

財務内容については、外部資金獲得に向けた取組の成果が現れているほか、「大阪大学未来基金(大学)」により平成21年度から募金活動を開始するなど、自己収入の増加に向けた取組に努めている。

自己点検・評価及び情報提供については、評価の基盤資料となる大阪大学基礎データ収集システム(教員基礎データと全学基礎データ)を整備し、システムの構築・更改を行うことで、大学全体の評価業務に必要なデータの管理・運営の一元化を図り、効率化に取り組んでいる。

その他業務運営については、施設設備の整備において緑地空間の管理・改善の方向を示したガイドライン「緑のフレームワークプラン」を実行し、周辺環境に配慮し、既存の景観を活かした植栽整備等により財団法人都市緑化基金から第19回「緑のデザイン賞」緑化大賞を授与されている。

一方、平成19年度の研究費不正使用防止に係る取組以降も、研究費の不正使用が行われていたことから、再発防止のための着実な取組が求められる。

## ▼認証評価

認証評価とは、平成16年度より導入されたものであり、「大学機関別認証評価」や「専門職大学院認証評価」があります。

全ての大学は、7年(専門職大学院では5年)以内毎に1度、その教育研究水準の維持及び向上に資するため、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受けることが義務付けられています。〔学校教育法第109条等〕

本学では、(独)大学評価・学位授与機構(NIAD-UE)を認証評価機関として、平成20年度に専門職大学院認証評価のうち法科大学院認証評価、平成21年度に大学機関別認証評価をそれぞれ受審し、いずれも「評価基準を満たしている。」と評価されました。

### ○大学機関別認証評価結果(平成22年3月)

大阪大学は、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。

主な優れた点として、次のことが挙げられる。

- 大阪外国語大学との統合を活かして、人間科学研究科グローバル人間学専攻、言語文化研究科言語社会専攻などを開設して、国際化に対応した教育・研究を推進している。
- WebCTを利用した自習システムのほか、図書館にコンピュータ室、グループ学習室やラーニング・commonsなどを整備して、時間外の学習を支援している。
- 高度教養教育を行うコミュニケーションデザイン科目やダブル・メジャーを旨とした高度副プログラムを開設し、大学院教育の実質化に努めている。
- 文部科学省教育GPにおいて平成20年度に2件、文部科学省特色GPにおいて平成16年度に1件、文部科学省現代GPにおいて平成17年度に1件、平成18年度に1件、平成19年度に1件、文部科学省大学院GPにおいて平成19年度に6件、平成20年度に4件、平成21年度に2件、文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブにおいて平成17年度に10件、平成18年度に3件、文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」において平成19年度に1件、文部科学省「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」において平成18年度に1件、文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム(戦略的国際連携支援)」において平成17年度に1件、文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」において平成19年度に1件の取組が採択されており、特色ある取組を展開している。
- 文部科学省グローバルCOEプログラムにおいて平成19年度に7件、平成20年度に4件、平成21年度に1件の取組が採択されており、特色ある取組を展開している。
- 大学独自の奨学金制度「教養教育奨学金」を設けて、優秀な学生の経済的支援を実施している。
- 文部科学省学生支援GPに平成19年度に採択された「市民社会におけるリーダーシップ養成支援－「阪大スタイル」育成プログラムの開発－」では、大学祭で研修に参加した学生が中心となって企画したイベントや3泊4日の合宿研修を実施し、「市民社会でのリーダー」養成を目指している。
- 教養教育において優れた授業を実践した教員などを表彰する制度を設け、表彰された教員の模範授業を公開し、授業方法を本にまとめてFDの教材にするなど、教育の質の向上に努めている。
- 大学の公式ウェブサイトには、基本的な情報がわかりやすく整理されており、求める情報へのアクセスが容易である。
- 評価室で自己評価を適切に実施し、大学として更なる改善に向けて必要な事項を的確に把握している。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられる。

- 学士課程の1つの学部の3年次編入及び大学院課程の一部の研究科においては、入学定員超過率が高い、又は入学定員充足率が低い。

### ○法科大学院認証評価結果(平成21年3月)

大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻は、大学評価・学位授与機構が定める法科大学院評価基準に適合している。

当該法科大学院の主な優れた点として、次のことが挙げられる。

- 法律実務基礎科目において、公法系の諸問題を含む訴訟実務に関する授業科目「公法訴訟」が開設されている。
- 文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」に選定された取組「紛争の予防能力と修復能力を備えた法曹養成」として、地域の法曹界、官公庁、経済団体等と協力して実地調査や研究会が行われ、シンポジウムも開催されるなど、現代型紛争にも対処しうる法曹養成の教育内容及び方法が検討されている。
- ウェブサイト「合格者専用サイト」の開設によって、学生が入学前に自発的な学習ができるように配慮している。
- 設置基準上必要な専任教員数20人に対して、法科大学院の理念・目的を実現するため、基準で必要とされる数を相当数超えて専任教員が配置され、関係する科目に専任教員が配置されている。
- 教育上主要な科目については、原則として専任教員が担当するものとしつつ、研究専念期間を確保する制度が実現している。
- 自習室については、学生総数と同数以上の自習机が整備され、十分なスペースが確保されている。



大学機関別認証評価  
認定マーク



法科大学院認証評価  
認定マーク

(出典:「国立大学法人大阪大学財務レポート2008」、「同レポート2009」、「同レポート2010」)

## 決算概況 平成19事業年度～21事業年度

### 1.財政状況について

(単位:百万円)

(%表示は対前年度増減率)

	資産		負債		資本		自己資本比率
平成21年度	442,577	3.62%	137,964	6.32%	304,612	2.44%	68.83
平成20年度	427,117	1.43%	129,761	2.14%	297,355	1.12%	69.62
平成19年度	421,097	3.91%	127,041	2.96%	294,055	4.32%	69.83

### 2.運営状況について

(単位:百万円)

	経常費用	経常収益	臨時損失	臨時利益	目的積立金取崩額	総利益						
平成21年度	122,794	0.44%	125,889	△0.36%	5	△89.36%	2,857	3659.21%	704	630.00%	6,650	60.94%
平成20年度	122,255	4.19%	126,347	3.16%	47	△60.50%	76	△14.61%	11	△98.18%	4,132	△27.62%
平成19年度	117,339	10.11%	122,472	10.25%	119	△64.05%	89	△73.03%	606	100.00%	5,709	26.14%

注)平成19年度目的積立金取崩額には、旧法人承継積立金取崩額(468百万円)を含みます。

平成19年度は、附属病院収入、受託研究収入、補助金等収入の獲得に努め、事業規模が拡大した結果、経常費用と計上収益が増加しました。なお、平成19年度より臨時損益の内容を見直した結果、対前年比増減率は大きく減少しました。  
平成20年度は、附属病院収益及び補助金等収益が増加したことによる事業規模の拡大が、経常収益及び経常費用の拡大の主な原因となっています。  
平成21年度は、国立大学法学会会計基準第77の第3項に基づき、中期目標期間の最終事業年度の期末処理において、運営費交付金債務を全額収益に振り替えたことにより臨時利益が増加しています。また、目的積立金取崩額については、中期目標期間の事業計画に沿って目的積立金を使用したことにより増加しています。

### 3.キャッシュ・フローの状況について

(単位:百万円)

	業務活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	当期資金増減額 (換算差額含む)	資金期首残高	資金期末残高
平成21年度	20,545	△12,496	△7,527	521	9,414	9,934
平成20年度	17,452	△15,530	△6,713	△4,791	14,206	9,414
平成19年度	20,120	△12,746	△7,180	1,321	12,885	14,206

資金の期末残高に含まれていない定期預金の残高 (単位:百万円)

平成21年度	47
平成20年度	3,000
平成19年度	12,000

### 4.積立金及び目的積立金の発生状況について

(単位:百万円)

	積立金	うち運営費 交付金収益		目的 積立金	計 (利益処分額)	利益処分内訳		
		うち積立金 振替額	繰越額			うち目的積立金	国庫 納付額	
平成21年度	6,969	2,855	318	0	6,969	4,231	313	2,738
平成20年度	3,535	0	0	596	4,132			
平成19年度	3,139	0	0	2,569	5,709			

積立金の主な発生要因は、①財政投融资における借入金償還差額、②自己収入財源により取得した固定資産に係る償却差額によるものです。法人移行時の借入金残高の状況や法人化以降の固定資産取得状況等が大きく影響しています。また、平成21年度は中期目標期間の最終事業年度における精算のために臨時利益で計上した運営費交付金収益が積立金として整理されています。  
目的積立金は、自己収入を計画以上に獲得したことや、効率的な運営を行ったこと等から生じた剰余金によるものであり、文部科学大臣の承認を経たのち使用可能となります。  
平成21年度は第1期中期目標期間の最終年度であるため、国立大学法第32条に基づき積立金の処分を行い、次期中期目標期間の業務の財源に充てるための積立金がある場合に文部科学大臣へ承認申請を行います。その承認額を積立金から控除してもなお剰余がある場合は、同法第32条第3項に基づき、国庫納付することとなります。

### 5.収入支出決算額について

(単位:百万円)

	収入				支出		収入-支出					
	一般財源等	自己収入等	外部資金等	収入計								
平成21年度	70,715	15.78%	52,733	8.45%	22,630	△4.42%	146,078	9.52%	139,845	9.25%	6,232	15.94%
平成20年度	61,077	6.50%	48,624	6.07%	23,677	△3.03%	133,380	4.52%	128,004	6.55%	5,375	△28.06%
平成19年度	57,350	4.98%	45,841	13.70%	24,417	18.09%	127,609	10.13%	120,138	8.35%	7,471	153.43%

注1)収入区分における一般財源等・自己収入等・外部資金等の内訳は次のとおりとなっています。

<一般財源等>・・・運営費交付金、施設整備費補助金、補助金等収入、国立大学財務・経営センター施設費交付金  
<自己収入等>・・・授業料及び入学金及び検定料、附属病院収入、財産処分収入、雑収入、その他の収入等  
<外部資金等>・・・産学連携等研究収入及び寄附金収入等

注2)平成19年度の前年度増減比率については、繰越金額相当を含まない金額での比率を記載しています。

これは、平成19年度より決算報告書の作成方法が変更されたことによります。

平成19年度は、補助金等収入や受託研究等収入といった外部資金等の獲得ならびに附属病院収入の増収により、すべての収入区分において、収入額が増加しました。また、「収入-支出」額についても、大きく増加しています。  
平成20年度は、外部資金等の収入額が若干減少しましたが、補助金等収入及び病院収入等が増加したことにより全体の収入額は増加し、効率的な運営を行った結果、「収入-支出」は5,375百万円となっています。  
平成21年度は、補助金等収入の増加及び目的積立金の計画的な執行により、収入及び支出額がそれぞれ増加しています。

(出典:「大阪大学環境報告書2008」、「同報告書2009」、「同報告書2010」)

### ▼電力使用量合計

	豊中キャンパス		吹田キャンパス		箕面キャンパス		使用量合計 (MWh)
	使用量 (MWh)	原単位 (kWh/m)	使用量 (MWh)	原単位 (kWh/m)	使用量 (MWh)	原単位 (kWh/m)	
平成19年度	34,291	158.0	163,943	280.9	1,786	57.3	200,020
平成20年度	34,903	156.3	166,806	282.9	3,170	51.6	204,878
平成21年度	34,978	157.1	168,179	282.4	3,112	50.6	206,269

大阪大学では、教育研究環境の質を低下させずに無駄を排除する省エネ活動の推進を継続しています。エアコンの温度設定やこまめな消灯など、身近な取り組みを行っています。

また、太陽光発電の設置や照明器具及び空調機の省エネ型への転換を順次進めています。

しかし、電力需要は増加する傾向にあり、この要因としては、新しい研究棟が整備されたことや、研究活動の活発化により電力の使用量が増加したものと考えられます。

### ▼ガス使用量合計(都市ガス)

(単位:千m)

	豊中キャンパス	吹田キャンパス	箕面キャンパス	合計
平成19年度	246	7,744	133	8,123
平成20年度	296	8,112	240	8,649
平成21年度	270	8,708	267	9,245

大阪大学では、ガス使用量の大部分は空調に使用しています。平成19年度以降については、箕面地区が加わったことや、新しい研究棟の整備等により空調面積が増えたことで、使用量が増加したと考えられます。

### ▼水使用量合計

	豊中キャンパス	吹田キャンパス	箕面キャンパス	合計
平成19年度	267	963	28	1,258
平成20年度	271	891	56	1,217
平成21年度	179	702	53	934

大阪大学の水の使用量については毎年減少しています。建物の改修に伴い自動水洗トイレの擬音装置の設置及び節水タイプのフラッシュバルブによる節水効果や、実験用冷却水の循環装置の導入等により効果が現れています。

# 各種大学ランキング

## ▼日本の論文の引用動向日本の研究機関ランキング

1997-2007 (総合 3,759機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	12	東京大学	917,797
2	28	京都大学	638,174
3	33	大阪大学	566,083
4	65	東北大学	401,985
5	92	(独)科学技術振興機構	320,393
6	104	名古屋大学	296,621
7	123	九州大学	267,992
8	139	(独)理化学研究所	240,215
9	142	北海道大学	239,374
10	162	東京工業大学	223,871
11	182	(独)産業技術総合研究所	204,916
12	223	筑波大学	171,924
13	279	広島大学	136,637
14	285	自然科学研究機構	132,780
15	299	慶應義塾大学	127,466
16	300	千葉大学	126,932
17	343	神戸大学	108,292
18	345	岡山大学	108,056
19	373	東京医科歯科大学	99,197
20	378	熊本大学	96,184

1998-2008 (総合 4,102機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	11	東京大学	984,934
2	30	京都大学	684,431
3	34	大阪大学	604,720
4	64	東北大学	443,396
5	80	(独)科学技術振興機構	392,578
6	108	名古屋大学	317,667
7	120	九州大学	291,159
8	134	(独)理化学研究所	275,262
9	144	北海道大学	262,528
10	165	東京工業大学	243,188
11	171	(独)産業技術総合研究所	234,218
12	231	筑波大学	184,432
13	283	広島大学	147,939
14	290	慶應義塾大学	145,162
15	298	自然科学研究機構	140,851
16	305	千葉大学	137,228
17	335	岡山大学	120,826
18	339	神戸大学	119,351
19	376	東京医科歯科大学	107,046
20	389	金沢大学	102,682

1999-2009 (総合 4,272機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	11	東京大学	1,041,057
2	31	京都大学	732,732
3	37	大阪大学	628,365
4	65	東北大学	473,014
5	67	(独)科学技術振興機構	462,433
6	110	名古屋大学	338,129
7	124	九州大学	312,666
8	129	(独)理化学研究所	306,754
9	146	北海道大学	284,189
10	151	(独)産業技術総合研究所	270,838
11	171	東京工業大学	255,204
12	231	筑波大学	197,384
13	287	慶應義塾大学	159,647
14	292	自然科学研究機構	157,795
15	298	広島大学	155,650
16	311	千葉大学	148,811
17	343	岡山大学	130,575
18	356	神戸大学	124,372
19	384	東京医科歯科大学	114,439
20	396	金沢大学	108,928

(出典:トムソンサイエンティフィック社ホームページ)

## ▼THES World University Rankings

※200位以内にエントリーしている大学のみ掲載

2007年

国内順位	世界順位	機関名
1	17	東京大学
2	25	京都大学
3	46	大阪大学
4	90	東京工業大学
5	102	東北大学
6	112	名古屋大学
7	136	九州大学
8	151	北海道大学
9	161	慶應義塾大学
10	180	早稲田大学
11	197	神戸大学

2008年

国内順位	世界順位	機関名
1	19	東京大学
2	25	京都大学
3	44	大阪大学
4	61	東京工業大学
5	112	東北大学
6	120	名古屋大学
7	158	九州大学
8	174	北海道大学
9	180	早稲田大学
10	199	神戸大学

2009年

国内順位	世界順位	機関名
1	22	東京大学
2	25	京都大学
3	43	大阪大学
4	55	東京工業大学
5	92	名古屋大学
6	97	東北大学
7	142	慶應義塾大学
8	148	早稲田大学
9	155	九州大学
10	171	北海道大学
11	174	筑波大学

2010年

国内順位	世界順位	機関名
1	26	東京大学
2	57	京都大学
3	112	東京工業大学
4	130	大阪大学
5	132	東北大学

(出典:Times Higher Education Supplement)

※THES:The Times Higher Education Supplement  
イギリスの高等教育誌。  
University Rankingsは、Peer Review、Employer Review、  
International Staff、International Students、Staff-To-Student Ratio、  
Citations Per Staff Memberの各スコアにより決定されています。

研究の質と量の水準を示す論文被引用数では、国内で3番目の順位を保っています。THESの世界ランキングでは、2009年の43位から2010年には130位と大幅に下落しました。他の国内の大学と同様に、1年で研究レベルが急落したとは考えられず、2010年からランキングのもととなるスコアの取り方が変更されたためと考えられます。

## ▼日本の論文の引用動向日本の研究機関ランキング—研究分野別ランキング

※世界のトップ5に日本の機関がエントリーしている分野のみ掲載。

1997-2007 (材料科学 589機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東北大学	35,403
2	4	(独)産業技術総合研究所	27,320
3	7	大阪大学	22,464
4	13	(独)物質・材料研究機構	21,432
5	14	東京大学	18,951
6	15	京都大学	18,872
7	18	東京工業大学	17,061
8	33	九州大学	12,423
9	40	(独)科学技術振興機構	11,149
10	56	名古屋大学	8,799

1998-2008 (材料科学 621機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東北大学	38,994
2	4	(独)産業技術総合研究所	31,123
3	7	(独)物質・材料研究機構	26,600
4	9	大阪大学	24,789
5	16	東京大学	21,798
6	17	京都大学	20,492
7	19	東京工業大学	19,388
8	34	(独)科学技術振興機構	14,521
9	38	九州大学	13,514
10	62	名古屋大学	9,921

1999-2009 (材料科学 637機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東北大学	43,561
2	4	(独)産業技術総合研究所	36,313
3	6	(独)物質・材料研究機構	32,531
4	10	大阪大学	27,902
5	16	東京大学	24,226
6	18	京都大学	22,671
7	22	東京工業大学	21,044
8	29	(独)科学技術振興機構	17,884
9	44	九州大学	13,715
10	69	名古屋大学	10,748

(物理学 642機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	2	東京大学	178,642
2	11	東北大学	116,512
3	22	大阪大学	87,142
4	26	京都大学	79,358
5	30	東京工業大学	70,922
6	48	高エネルギー加速器研究機構	56,369
7	50	(独)産業技術総合研究所	54,566
8	52	(独)科学技術振興機構	53,271
9	64	名古屋大学	47,567
10	74	(独)理化学研究所	43,770

(物理学 679機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	2	東京大学	190,987
2	9	東北大学	128,555
3	22	大阪大学	94,666
4	26	京都大学	85,969
5	30	東京工業大学	78,087
6	38	高エネルギー加速器研究機構	68,433
7	42	(独)科学技術振興機構	64,978
8	50	(独)産業技術総合研究所	59,400
9	66	名古屋大学	51,035
10	70	(独)理化学研究所	49,798

(物理学 686機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	2	東京大学	195,722
2	10	東北大学	129,103
3	22	大阪大学	97,202
4	24	京都大学	92,550
5	30	東京工業大学	79,960
6	33	(独)科学技術振興機構	74,401
7	40	高エネルギー加速器研究機構	67,700
8	47	(独)産業技術総合研究所	63,111
9	62	名古屋大学	53,506
10	66	(独)理化学研究所	52,561

(化学 858機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	4	京都大学	115,563
2	5	東京大学	113,061
3	11	大阪大学	80,184
4	15	東北大学	71,629
5	19	東京工業大学	69,601
6	23	(独)産業技術総合研究所	65,592
7	30	(独)科学技術振興機構	54,078
8	33	九州大学	52,601
9	38	北海道大学	49,359
10	40	名古屋大学	49,125

(化学 922機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	4	京都大学	128,841
2	5	東京大学	124,962
3	11	大阪大学	88,075
4	17	東北大学	77,731
5	19	(独)産業技術総合研究所	74,655
6	20	東京工業大学	73,925
7	25	(独)科学技術振興機構	67,140
8	35	九州大学	56,293
9	38	名古屋大学	54,029
10	41	北海道大学	52,624

(化学 950機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	4	京都大学	138,816
2	5	東京大学	134,348
3	11	大阪大学	91,939
4	14	(独)産業技術総合研究所	86,946
5	18	東北大学	83,144
6	19	(独)科学技術振興機構	82,144
7	22	東京工業大学	77,563
8	37	九州大学	59,143
9	39	名古屋大学	58,143
10	46	北海道大学	54,181

(生物学・生化学 648機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東京大学	127,899
2	25	京都大学	84,784
3	27	大阪大学	75,820
4	44	(独)科学技術振興機構	51,026
5	68	(独)理化学研究所	43,109
6	86	名古屋大学	36,202
7	102	九州大学	33,285
8	115	東北大学	30,173
9	124	北海道大学	28,398
10	159	筑波大学	24,750

(生物学・生化学 669機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東京大学	130,010
2	26	京都大学	87,035
3	28	大阪大学	76,878
4	36	(独)科学技術振興機構	60,987
5	57	(独)理化学研究所	47,242
6	85	名古屋大学	37,042
7	96	九州大学	34,747
8	111	東北大学	31,787
9	121	北海道大学	30,157
10	159	筑波大学	25,053

(生物学・生化学 720機関)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東京大学	133,359
2	19	京都大学	92,242
3	28	大阪大学	77,318
4	32	(独)科学技術振興機構	70,255
5	47	(独)理化学研究所	53,060
6	90	名古屋大学	37,762
7	95	九州大学	36,482
8	112	北海道大学	33,151
9	114	東北大学	32,458
10	151	筑波大学	26,960

(免疫学)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	5	大阪大学	58,468
2	16	(独)科学技術振興機構	38,918
3	20	東京大学	31,623
4	24	京都大学	29,375
5	65	(独)理化学研究所	15,527
6	73	九州大学	14,193
7	103	順天堂大学	11,240
8	123	東北大学	9,615
9	128	兵庫医科大学	9,224
10	173	国立感染症研究所	7,410

(薬理学・毒物学)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	5	東京大学	17,385
2	32	京都大学	10,909
3	64	東北大学	7,956
4	84	九州大学	6,984
5	104	金沢大学	6,469
6	121	千葉大学	6,037
7	128	富山大学	5,933
8	129	(独)科学技術振興機構	5,916
9	138	熊本大学	5,585
10	143	大阪大学	5,486

(免疫学)

国内順位	世界順位	機関名	被引用数
1	3	東京大学	133,359
2	19	京都大学	92,242
3	28	大阪大学	77,318
4	32	(独)科学技術振興機構	70,255
5	47	(独)理化学研究所	53,060</

# 各種大学ランキング

## ▼科学研究費補助金

### 機関別配分額ランキング(新規採択分+継続分)

平成19年度 (単位:百万円)				平成20年度 (単位:百万円)				平成21年度 (単位:百万円)				
順位	機関名	採択件数	配分額	機関名	採択件数	配分額	機関名	採択件数	配分額	機関名	採択件数	配分額
1	東京大学	2,906	21,222	東京大学	2,896	21,324	東京大学	3,090	24,493	東京大学	3,090	24,493
2	京都大学	2,366	14,281	京都大学	2,304	14,403	京都大学	2,403	14,164	京都大学	2,403	14,164
3	東北大学	2,007	10,411	東北大学	1,952	11,074	大阪大学	2,016	10,619	大阪大学	2,016	10,619
4	大阪大学	1,931	10,526	大阪大学	1,941	10,359	東北大学	1,969	10,411	東北大学	1,969	10,411
5	九州大学	1,494	6,129	九州大学	1,396	5,728	九州大学	1,480	6,056	九州大学	1,480	6,056
6	北海道大学	1,436	6,054	名古屋大学	1,351	6,514	北海道大学	1,390	5,947	北海道大学	1,390	5,947
7	名古屋大学	1,318	6,633	北海道大学	1,310	6,176	名古屋大学	1,331	6,333	名古屋大学	1,331	6,333
8	筑波大学	972	3,423	筑波大学	911	3,167	筑波大学	970	3,602	筑波大学	970	3,602
9	広島大学	857	2,727	広島大学	811	2,623	広島大学	868	2,646	広島大学	868	2,646
10	東京工業大学	787	5,064	神戸大学	751	2,716	慶應義塾大学	749	2,941	慶應義塾大学	749	2,941
11	神戸大学	759	2,942	東京工業大学	701	4,907	神戸大学	735	2,714	神戸大学	735	2,714
12	慶應義塾大学	669	2,387	慶應義塾大学	671	2,476	東京工業大学	707	4,692	東京工業大学	707	4,692
13	岡山大学	625	1,944	(独)理化学研究所	630	3,885	(独)理化学研究所	665	3,949	(独)理化学研究所	665	3,949
14	(独)理化学研究所	602	3,276	岡山大学	606	2,022	岡山大学	636	1,946	岡山大学	636	1,946
15	千葉大学	593	1,896	千葉大学	606	1,843	千葉大学	621	2,200	千葉大学	621	2,200
16	早稲田大学	569	1,951	早稲田大学	572	2,155	早稲田大学	620	2,155	早稲田大学	620	2,155
17	金沢大学	554	1,498	金沢大学	537	1,568	金沢大学	563	1,629	金沢大学	563	1,629
18	熊本大学	432	1,399	熊本大学	446	1,537	新潟大学	478	1,349	新潟大学	478	1,349
19	東京医科歯科大学	425	1,947	新潟大学	428	1,129	熊本大学	463	1,525	熊本大学	463	1,525
20	新潟大学	422	1,194	東京医科歯科大学	405	1,825	長崎大学	434	1,141	長崎大学	434	1,141

(出典:文部科学省ホームページ)

## ▼国内大学別特許ランキング 特許登録件数

(出典:特許庁ホームページ)

平成19年度			平成20年度			平成21年度		
順位	出願人	件数	順位	出願人	件数	順位	出願人	件数
1	日本大学	38	1	東京工業大学	55	1	東京工業大学	60
2	東海大学	26	2	日本大学	53	2	東北大学	54
2	早稲田大学	26	3	早稲田大学	35	3	東京大学	47
4	名古屋大学	21	4	慶應義塾大学	24	4	日本大学	46
5	京都大学	20	5	東海大学	23	5	東海大学	44
5	東北大学	20	5	名古屋大学	23	6	京都大学	43
7	大阪大学	18	7	北陸先端科学技術大学院大学	18	7	広島大学	38
7	金沢工業大学	18	8	東北大学	17	8	早稲田大学	36
7	東京大学	18	9	京都大学	16	9	慶應義塾大学	35
7	山口大学	18	9	九州大学	16	10	九州大学	30
11	九州工業大学	17	9	群馬大学	16	11	群馬大学	24
11	慶應義塾大学	17	12	岡山大学	14	12	名古屋大学	22
13	信州大学	14	12	広島大学	14	13	金沢工業大学	20
13	奈良先端科学技術大学院大学	14	14	鳥取大学	12	14	岡山大学	19
15	東京工業大学	13	15	東京大学	11	14	千葉大学	19
15	広島大学	13	16	近畿大学	10	16	静岡大学	18
17	近畿大学	12	16	佐賀大学	10	16	福井大学	18
17	埼玉大学	12	16	信州大学	10	18	筑波大学	17
17	北陸先端科学技術大学院大学	12	16	静岡大学	10	18	豊橋技術科学大学	17
17	北海道大学	12	16	福井大学	10	20	北海道大学	16
			26	大阪大学	8	21	大阪大学	15

## 特許公開件数

平成19年度			平成20年度			平成21年度		
順位	出願人	件数	順位	出願人	件数	順位	出願人	件数
1	東北大学	311	1	東北大学	326	1	東北大学	324
2	東京工業大学	282	2	東京大学	280	2	東京工業大学	283
3	東京大学	268	3	大阪大学	273	3	東京大学	228
4	大阪大学	244	4	東京工業大学	231	4	大阪大学	171
5	京都大学	187	5	京都大学	188	5	広島大学	154
6	北海道大学	152	6	九州大学	150	6	九州大学	141
7	名古屋大学	149	7	北海道大学	136	7	京都大学	125
8	大阪府立大学	127	8	広島大学	132	8	名古屋工業大学	117
9	東京農工大学	123	9	名古屋工業大学	122	9	北海道大学	115
9	広島大学	123	10	山口大学	120	10	九州大学	115
11	山口大学	113	11	大阪府立大学	117	11	大阪府立大学	105
12	九州大学	107	11	名古屋大学	117	12	慶應義塾大学	104
12	名古屋工業大学	107	13	静岡大学	106	13	日本大学	92
14	信州大学	101	14	岡山大学	104	14	信州大学	90
15	日本大学	100	15	慶應義塾大学	94	15	早稲田大学	88
16	慶應義塾大学	90	16	信州大学	92	16	東京理科大学	80
16	静岡大学	90	17	九州工業大学	90	17	千葉大学	78
18	早稲田大学	88	17	東京理科大学	90	17	筑波大学	78
19	千葉大学	83	19	早稲田大学	84	19	山口大学	67
19	東京理科大学	83	20	豊橋技術科学大学	83	20	首都大学東京	66

注:出願人が大学長名又は大学を持つ学校法人名となっている出願(各年度3月データ取得)を集計した。

## ▼大学発ベンチャー数の多い大学トップ10(累計ベース)

順位	大学	企業数	事業分野の構成									
			バイオ	IT ハードウェア	IT ソフトウェア	素材・材料	機械・装置	環境	エネルギー	教育	その他	
1	東京大学	125	44.2%	10.0%	28.3%	7.5%	19.2%	3.3%	1.7%	1.7%	7.5%	
2	筑波大学	76	31.7%	7.3%	36.6%	6.1%	17.1%	9.8%	3.7%	4.9%	26.8%	
3	大阪大学	75	54.5%	11.7%	16.9%	13.0%	23.4%	5.2%	0.0%	2.6%	13.0%	
4	早稲田大学	74	21.9%	6.8%	45.2%	4.1%	6.8%	4.1%	0.0%	8.2%	28.8%	
5	京都大学	64	48.5%	4.5%	28.8%	16.7%	13.6%	6.1%	1.5%	3.0%	15.2%	
6	東北大学	57	20.0%	10.0%	25.0%	25.0%	25.0%	16.7%	5.0%	1.7%	5.0%	
6	東京工業大学	57	17.2%	20.7%	37.9%	15.5%	22.4%	6.9%	10.3%	5.2%	24.1%	
8	九州大学	55	45.3%	13.2%	28.3%	9.4%	24.5%	11.3%	1.9%	0.0%	13.2%	
9	慶應義塾大学	51	28.1%	10.5%	54.4%	5.3%	12.3%	3.5%	1.8%	1.8%	12.3%	
10	九州工業大学	45	11.9%	19.0%	57.1%	7.1%	11.9%	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%	

注:設立ベースではなく、現在活動しているベンチャー数をカウント(1,809社、252大学)  
(出典:経済産業省『平成20年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書』から加工)

大阪大学業績集 2007-2009  
平成23年5月作成  
評価室・データ管理分析室  
総務企画部評価課  
Tel 06-6879-7176

